

第59期 決算データ分析資料

令和3年(2021)12月期 第3四半期

10月20日リリース！！

MROストッカーに自動販売機型モデルが新たに登場

24時間販売、無人での不特定多数の方への
販売、現金・キャッシュレス決済、防犯上の
リスク低減により更なる市場浸透へ！



MRO STOCKER
by TRUSCO

 **GOOD DESIGN AWARD**
2021年度受賞

トラスコ中山株式会社

令和3年(2021)11月1日発表

経営企画部 部長	下津 敦嗣
経営企画・広報IR課 課長	高田 真由美
経営企画・広報IR課	高橋 実花

〒105-0004

東京都港区新橋四丁目28番1号

トラスコ フィオリートビル10F

TEL: 03-3433-9840 FAX: 03-3433-9881

E-mail: info@trusco.co.jp

一 資料目次 一

第59期 令和3年(2021)12月期第3四半期

■はじめに

- P3 通期業績予想の上方修正について
- P4 会社概要

A■全社経営実績

- P5 ①【連結】令和3年(2021)12月期第3四半期 経営成績
- P6 ②【親単体】令和3年(2021)12月期第3四半期 経営成績
- P7 ③令和3年(2021)12月期 第3四半期
【連結】全社月次売上高／【親単体】1日当たり売上高

B■販売実績

- P8 ①【連結】販売セグメント別売上高・売上総利益率・経常利益
- P9 ②【連結】販売セグメント別月次売上高推移表
- P10 ③【連結】ファクトリールート・ブロック別・業種別・販売ルート別実績
- P11 ④【連結】eビジネスルート売上高
- P12 ⑤【連結】オレンジコマース(電子購買)連携数
- P13 ⑥【連結】ホームセンタールート売上高 上位10社実績
- P14 ⑦海外子会社の経営成績
- P15 ⑧【親単体】令和3年(2021)12月期第3四半期 売上分析
- P16 ⑨【親単体】令和3年(2021)12月期第3四半期 商品分類別売上分析
(大分類・中分類)
- P17 ⑩【親単体】令和3年(2021)12月期第3四半期 商品分類別売上分析
(小分類)
- P18 ⑪【親単体】令和3年(2021)12月期第3四半期
トラスコ オレンジブック掲載カテゴリ別売上高
- P19 ⑫【親単体】令和3年(2021)12月期第3四半期
プライベート・ブランド(PB)商品 売上高

C■経営指標の取組み状況

- P20 ①仕入先数及び新規掲載商品売上高／
在庫アイテム数及びヒット率／販売口座数及び法人数
- P21 ②【親単体】物流データ
- ③【親単体】システム稼働状況

D■財務等実績

- P22 ①【連結】令和3年(2021)12月期第3四半期 販売費・一般管理費の
主な増減内容
- P23 ②【連結】令和3年(2021)12月期第3四半期 販売費・一般管理費の詳細
- P24 ③【連結】令和3年(2021)12月期第3四半期 財務諸表
- P25 ④【連結】令和3年(2021)12月期第3四半期 設備投資等の状況

E■今期の計画

- P26 ①今期の計画
- P27 ②第59期 主な設備投資・トピックス
- P28 ③トラスコのサステナビリティ(1)
- P29 ④トラスコのサステナビリティ(2)

■参考資料■

- P30 ①株式情報
- P31 ②業界での指数比較
- P32 ③【連結】令和3年(2021)12月期第3四半期 四半期毎の実績(四半期)
- P33 ④【連結】令和3年(2021)12月期第3四半期 四半期毎の実績(累計)
- P34 ⑤会社データ
- P35 ⑥当社売上高指数・鉱工業生産指数

本資料には、将来の業績見通しおよび事業計画に関する記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化等により、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。
また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社は現時点での最新情報に更新する義務を負っていません。

通期業績予想の上方修正について(令和3年11月1日発表)

当社は、固定資産の譲渡に伴う特別利益の計上により、令和3年11月1日に親会社株主に帰属する当期純利益の上方修正を行いました。なお、事業活動に直接関わりのない特別利益のため、令和3年2月開示の配当方針に基づき1株当たりの配当金は修正しておりません。

■今回修正予算(第59期 令和3年(2021)12月期)

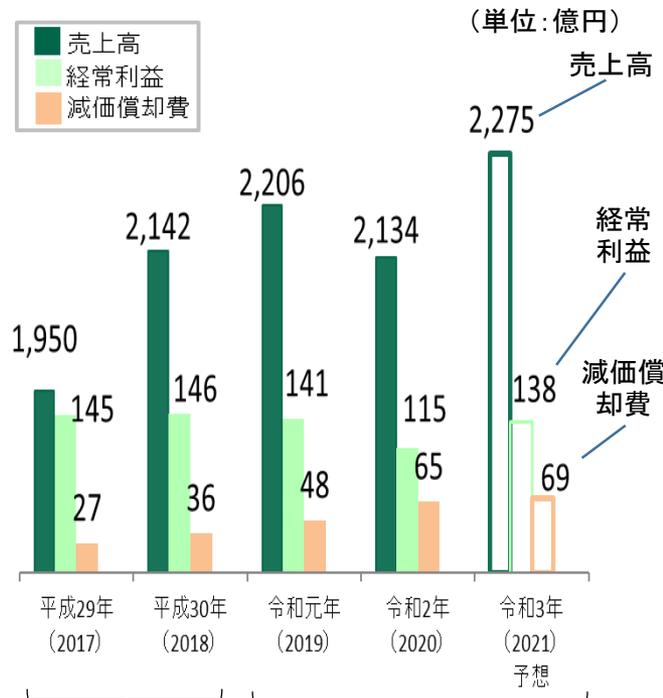
	前回発表予想 (令和3年3月15日発表)	今回修正予想 (令和3年11月1日発表)	前回予想比	前年比
売上高	2,275億20百万円	2,275億20百万円	-	+6.6%
営業利益	131億70百万円	131億70百万円	-	+19.5%
経常利益	138億20百万円	138億20百万円	-	+19.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	95億20百万円	119億70百万円	+25.7%	+49.5%
1株当たり当期純利益	144 円37 銭	181 円52 銭	+37円15銭	+60円09銭
1株当たり配当金	36 円50 銭	36 円50 銭	-	+6円00銭

会社概要

令和3年(2021)9月末時点

創業	昭和34年(1959)5月15日
代表者	代表取締役社長 中山 哲也 公益財団法人 中山視覚福祉財団 理事長 全日本機械工具商連合会 副会長 大阪機械器具卸商協同組合 理事長
本社事務所	東京本社(東京都港区・本店登記) 大阪本社(大阪市西区)
拠点数	計93か所 国内90か所:本社2か所、支店61か所、物流センター27か所 海外3か所:現地法人:タイ、インドネシア 駐在所:ドイツ(デュッセルドルフ)
資本金	50億2,237万円
証券取引所	東証一部(証券コード:9830)
従業員数	2,893名【連結】
格付状況	A(株式会社格付投資情報センター)
事業内容	機械工具、物流機器、環境安全用品をはじめとしたプロツール(工場用副資材)の卸売業及び自社ブランドTRUSCOの企画開発

売上高・経常利益・減価償却費の推移



【非連結】

【連結】

*積極的な物流・デジタル投資により、減価償却費が増加。

ビジネスフロー

仕入先様

当社(卸売業)

主な販売店様 5,512社

ターゲット市場(主なユーザー様)

メーカー
2,886社
(+234社)
内、海外メーカー
247社(+35社)
()前期末比

ファクトリールート
eビジネスルート
ホームセンタールート
海外ルート

機械工具商・溶接材料商・管材商・伝導機商・電材商・梱包資材商など
ネット通販企業など
ホームセンター・プロショップ・家電量販店 など
海外ディーラーなど

製造業・建設関連業
製造業・一般消費者
屋外作業関連・一般消費者
海外製造業

A-① 【連結】令和3年(2021)12月期第3四半期 経営成績

- ・売上高 :前年比+6.3%、予算比△0.2%。営業日数179日(前年同期比+1日)。※営業日数は親単体の営業日数
- ・売上総利益率 :21.2% 前年同期比△0.5pt
⇒前期、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る粗利の高い商品群の特需が一服したことで、売上総粗利率が低下しました。
- ・販管費:昨年の基幹システムリニューアルにかかる初期対応費用の減少で支払手数料、株主優待廃止による広告宣伝費の減少などにより、前年同期比△0.2%となりました。(販管費詳細はP.22～23参照)

	令和2年(2020)12月期 第3四半期		令和3年(2021)12月期 第3四半期						
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	前年 同期比 (%)	予算額	予算 構成比 (%)	予算差額	予算比 (%)
売上高	1,587億53百万円	-	1,687億08百万円	-	+6.3	1,690億51百万円	-	△3億42百万円	△0.2
売上 総利益	344億91百万円	21.7	357億54百万円	21.2	+3.7	366億54百万円	21.7	△8億99百万円	△2.5
販売費及び 一般管理費	263億53百万円	16.6	262億94百万円	15.6	△0.2	265億00百万円	15.7	△2億05百万円	△0.8
(うち減価償却費)	47億23百万円	3.0	51億44百万円	3.0	+8.9	52億02百万円	3.1	△58百万円	△1.1
営業利益	81億38百万円	5.1	94億59百万円	5.6	+16.2	101億54百万円	6.0	△6億94百万円	△6.8
経常利益	84億59百万円	5.3	100億14百万円	5.9	+18.4	107億08百万円	6.3	△6億93百万円	△6.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	57億14百万円	3.6	74億80百万円	4.4	+30.9	73億74百万円	4.4	+1億06百万円	+1.4
1株当たり 四半期純利益	86円66銭	-	113円43銭	-	-	111円82銭	-	+1円61銭	-

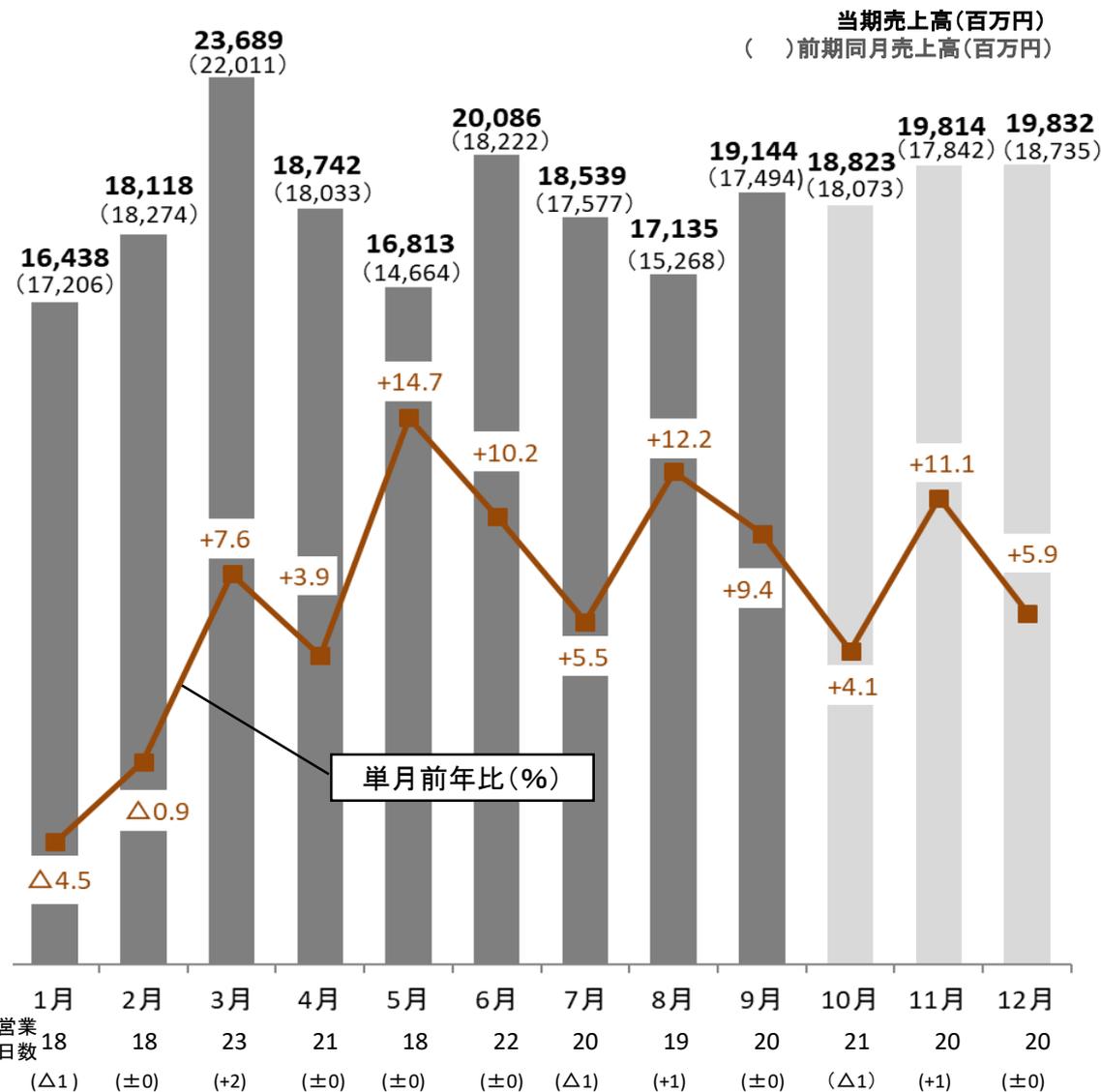
A-② 【親単体】令和3年(2021)12月期第3四半期 経営成績

	令和2年(2020)12月期 第3四半期		令和3年(2021)12月期 第3四半期						
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	前年 同期比 (%)	予算額	予算 構成比 (%)	予算差額	予算比 (%)
売上高	1,586億66百万円	-	1,684億29百万円	-	+6.2	1,686億65百万円	-	△2億36百万円	△0.1
売上 総利益	343億88百万円	21.7	355億86百万円	21.1	+3.5	364億64百万円	21.6	△8億78百万円	△2.4
販売費及び 一般管理費	261億59百万円	16.5	260億94百万円	15.5	△0.2	262億85百万円	15.6	△1億90百万円	△0.7
(うち減価償却費)	46億72百万円	2.9	50億92百万円	3.0	+9.0	52億02百万円	3.1	△1億10百万円	△2.1
営業利益	82億28百万円	5.2	94億91百万円	5.6	+15.3	101億79百万円	6.0	△6億87百万円	△6.8
経常利益	85億20百万円	5.4	100億31百万円	6.0	+17.7	107億29百万円	6.4	△6億98百万円	△6.5
四半期純利益	57億72百万円	3.6	75億02百万円	4.5	+30.0	74億04百万円	4.4	98百万円	+1.3
P B売上高	312億84百万円	19.7	325億00百万円	19.3	+3.9	329億79百万円	19.6	△4億79百万円	△1.5
1株当たり 四半期純利益	87円54銭	-	113円77銭	-	-	112円28銭	-	+1円49銭	-

A-③令和3年(2021)12月期第3四半期 【連結】全社月次売上高/【親単体】1日当たり売上高

【連結】全社月次売上高

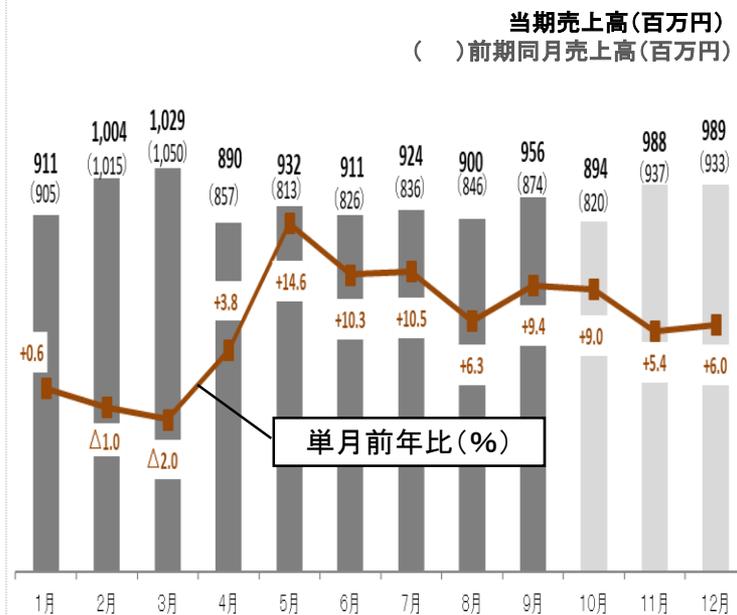
※1-9月は実績、10月以降は予算額で表記しています。



【親単体】全社1日当たり平均売上高推移

※1-9月は実績、10月以降は予算額で表記しています。

製造現場で使用されている消耗品は日々コンスタントに注文されるため、当社は1日当たりの売上高で前年との比較を行っております。また、多くの企業の決算月である3月は売上高が大きい繁忙期となっています。



B-① 【連結】販売セグメント別売上高・売上総利益率・経常利益

■販売セグメント別 連結売上高

	令和2年(2020)12月期 第3四半期				令和3年(2021)12月期 第3四半期										
	売上高		売上総利益率	経常利益	売上高						売上総利益率		経常利益		
販売ルート	実績	構成比	実績	実績	実績	構成比	前年増加額	前年同期比	予算	予算差額	予算比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
ファクトリールート	1,166億74百万円	73.5%	21.2%	58億03百万円	1,213億39百万円	71.9%	+46億65百万円	+4.0%	1,221億96百万円	△8億56百万円	△0.7%	20.7%	△0.5pt	67億60百万円	+16.5%
eビジネスルート	286億12百万円	18.0%	25.5%	23億76百万円	328億12百万円	19.5%	+41億99百万円	+14.7%	323億83百万円	+4億28百万円	+1.3%	23.9%	△1.6pt	25億46百万円	+7.1%
ホームセンタールート	125億80百万円	7.9%	17.7%	1億89百万円	133億26百万円	7.9%	+7億46百万円	+5.9%	132億16百万円	+1億09百万円	+0.8%	17.8%	+0.1pt	3億23百万円	+71.0%
海外ルート	8億86百万円	0.6%	30.3%	△1億75百万円	12億29百万円	0.7%	+3億43百万円	+38.7%	12億53百万円	△23百万円	△1.9%	31.6%	+1.3pt	△14百万円	-
全社合計	1,587億53百万円	100%	21.7%	84億59百万円	1,687億08百万円	100%	+99億54百万円	+6.3%	1,690億51百万円	△3億42百万円	△0.2%	21.2%	△0.5pt	100億14百万円	+18.4%

■ファクトリールート前年同期比: +4.0%

市場のニーズに即した在庫拡充を進め、得意先様の利便性向上に努めました。また、生産工場の稼働や設備投資の回復により、稼働に係る作業用品やハンドツール、設備投資に係る物流保管用品などの売上高が増加しました。(10ページ参照)

■eビジネスルート前年同期比: +14.7%

内訳は、通販企業様向けが前年同期比+15.1%、電子購買連携企業様向けが前年同期比+13.4%です。約329万アイテムに及ぶ商品データベースと得意先様のシステム連携を継続し、ニーズに合わせた梱包形態に対応した独自の物流サービス強化により通販企業様とのお取引が拡大しました。(11.12ページ参照)

■ホームセンタールート前年同期比: +5.9%

ホームセンター様、プロショップ様を中心に積極的に売場提案を継続しました。当社の48万アイテムに及ぶ在庫を活用した店頭での受け取りサービスや帳合獲得、売場提案などが売上高増に寄与し、業績は堅調に推移しました。(13ページ参照)

■海外ルート前年同期比: +38.7%

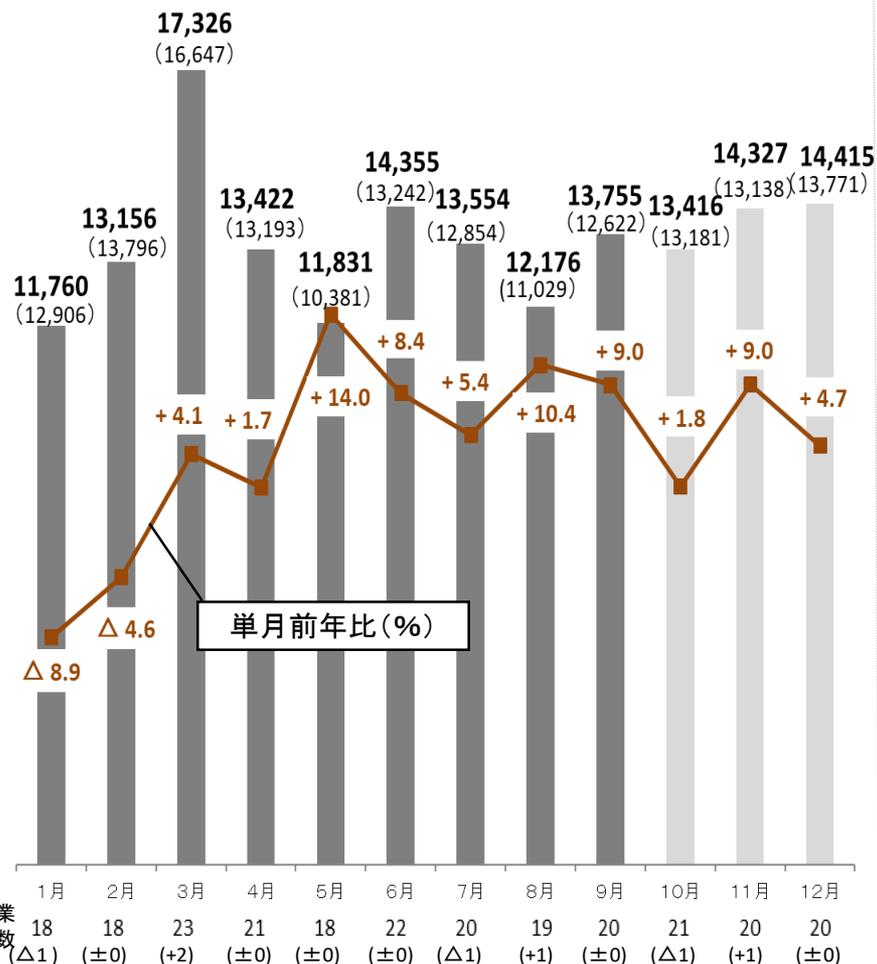
新型コロナウイルス感染症拡大により、社会活動が制限される中、市場のニーズに即した在庫拡充や課題解決による既存得意先様との取引拡大を進めました。(14ページ参照)

B-② 【連結】販売セグメント別月次売上高推移表

【ファクトリールート月次売上高推移表

※1-9月は実績、10月以降は予算額で表記しています。

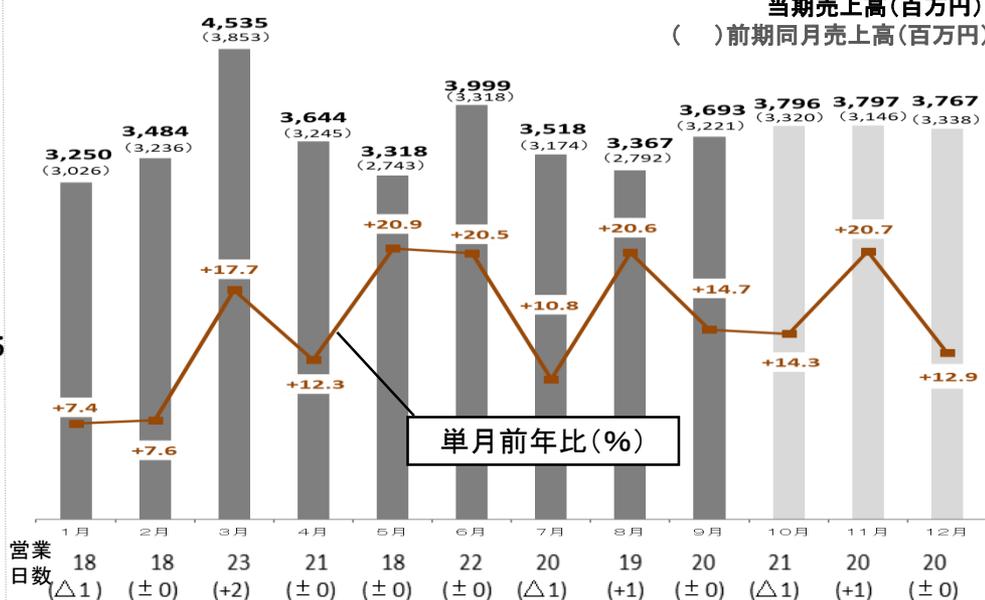
当期売上高(百万円)
() 前月売上高(百万円)



【eビジネスルート月次売上高推移表

※1-9月は実績、10月以降は予算額で表記しています。

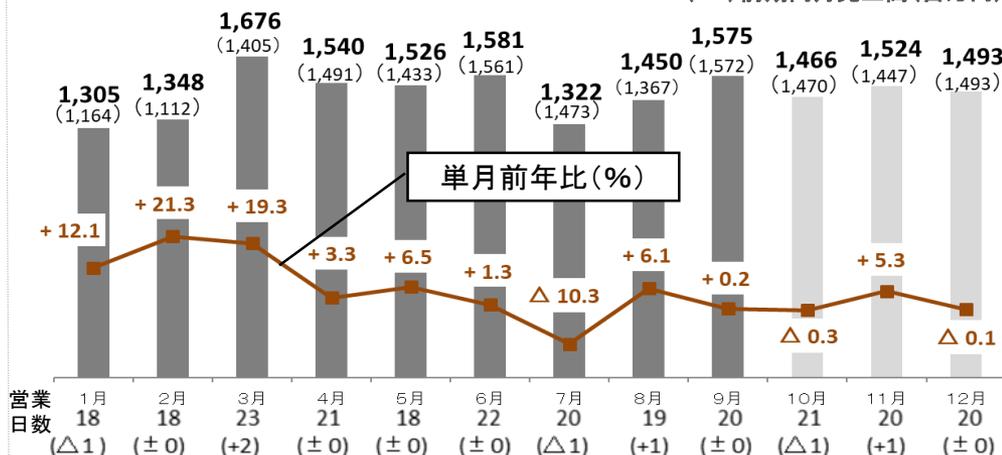
当期売上高(百万円)
() 前月売上高(百万円)



【ホームセンタールート月次売上高推移表

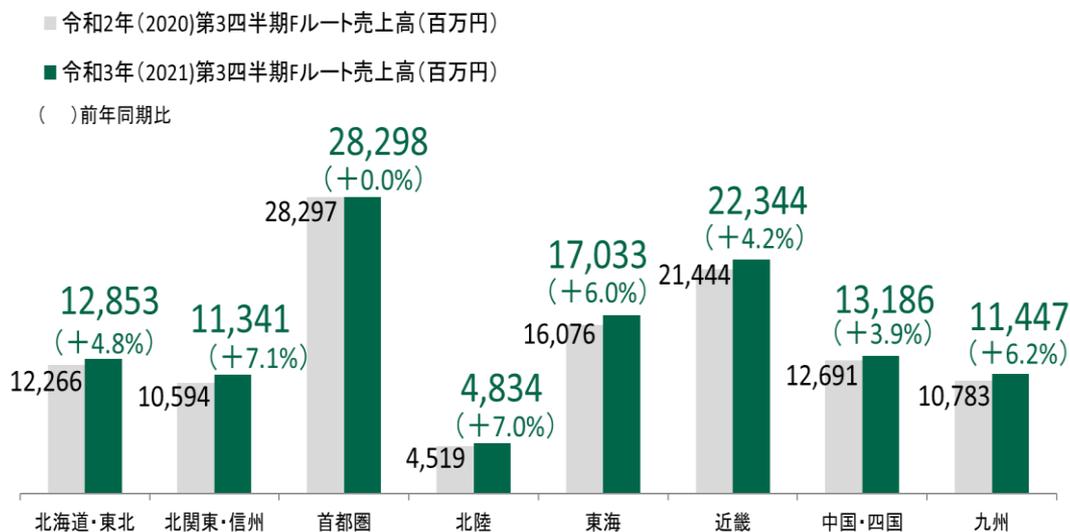
※1-9月は実績、10月以降は予算額で表記しています。

当期売上高(百万円)
() 前月売上高(百万円)



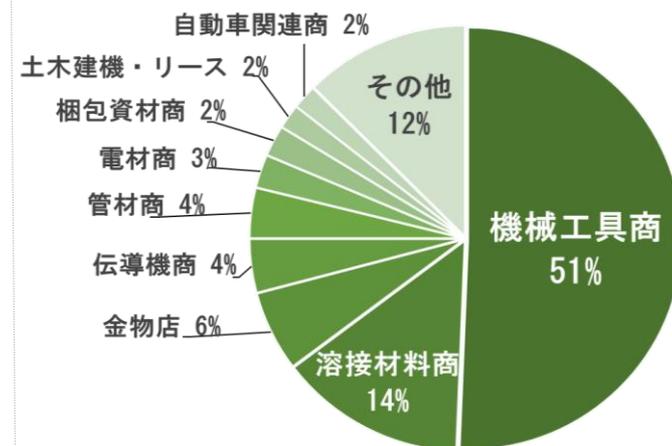
B-③ 【連結】ファクトリールート ブロック別・業種別・販売ルート別実績

■ファクトリールートブロック別売上高



■ファクトリールート業種別売上高構成比

令和3年(2021)12月期 第3四半期



■ファクトリールート販売ルート別売上高

販売ルート	令和2年(2020)12月期 第3四半期			令和3年(2021)12月期 第3四半期				
	売上高		売上総利益率	売上高			売上総利益率	
	実績	構成比		実績	構成比	前年同期比	実績	前年同期比
機械工具商	583億05百万円	50.0%	20.6%	614億96百万円	50.7%	+5.5%	20.1%	△0.5pt
溶接材料商	170億72百万円	14.6%	22.0%	171億08百万円	14.1%	+0.2%	21.6%	△0.4pt
その他製造業関連 (理化学・伝導機・梱包資材商など)	191億10百万円	16.4%	21.2%	202億32百万円	16.7%	+5.9%	20.6%	△0.6pt
建設関連 (金物商品・管材商・電材商・土木・リースなど)	221億85百万円	19.0%	22.0%	225億02百万円	18.5%	+1.4%	21.7%	△0.3pt
ファクトリールート合計	1,166億74百万円	100.0%	21.2%	1,213億39百万円	100.0%	+4.0%	20.7%	△0.5pt

B-④ 【連結】eビジネスルート売上高

■eビジネスルート販売ルート別売上高

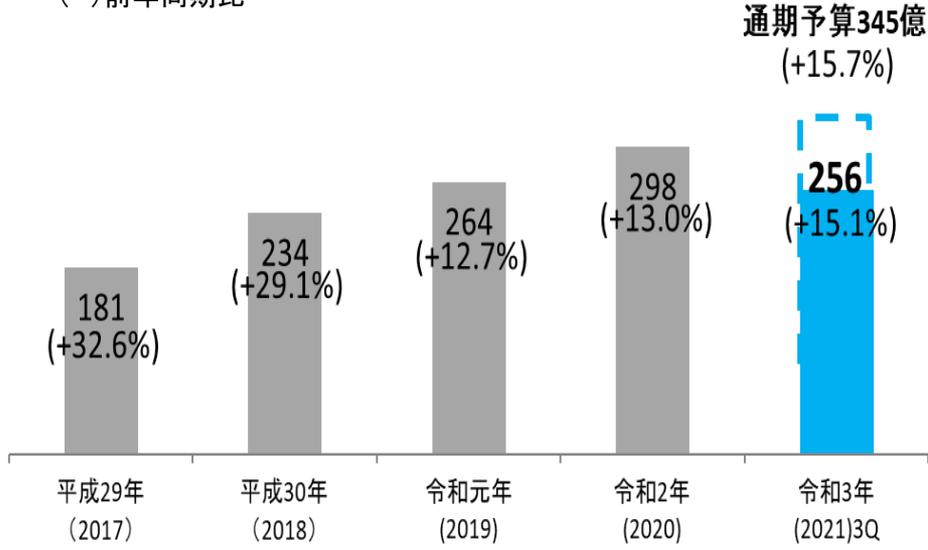
販売ルート	令和2年(2020)12月期 第2四半期			令和3年(2021)12月期 第3四半期				
	売上高		売上総利益率 実績	売上高			売上総利益率	
	実績	構成比		実績	構成比	前年同期比	実績	前年同期比
通販企業向け	222億63百万円	77.8%	24.8%	256億15百万円	78.1%	+15.1%	23.0%	△1.8pt
オレンジコマース(電子購買) 連携企業向け	63億49百万円	22.2%	28.1%	71億97百万円	21.9%	+13.4%	27.5%	△0.6pt
eビジネスルート合計	286億12百万円	100.0%	25.5%	328億12百万円	100.0%	+14.7%	23.9%	△1.6pt

■プロツール限定解除について

これまで当社は、機械工具卸の本流であるプロツールに特化した商品の取扱いを強化してまいりました。近年ネット通販企業様との取組が進行している中、通販企業様のエンドユーザー様は主に一般消費者であり、調達の利便性向上のため、特定の分野ではなく幅広い商品を提供する必要があると判断し、プロツールの限定解除を行いました。やみくもに解除するわけではなく、既存の仕入先様の中で当社では取扱のなかった商品群から解除をスタートしました。

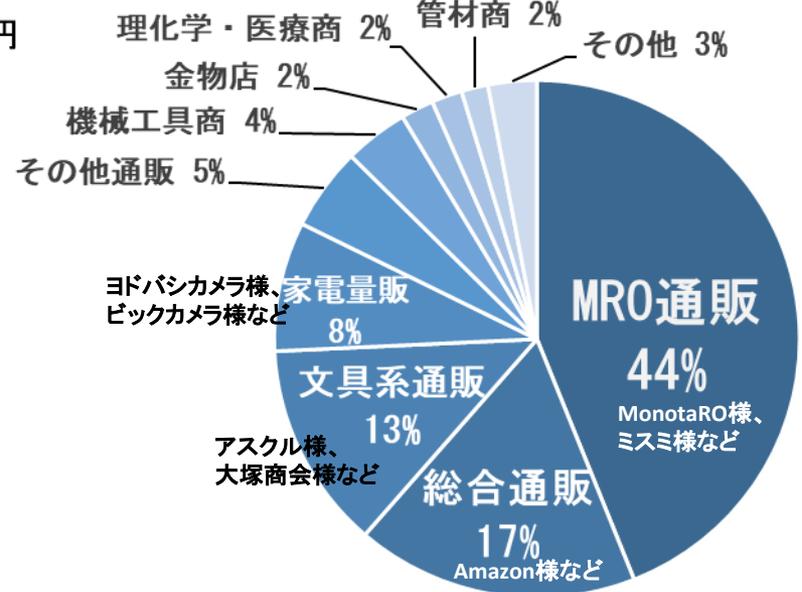
■通販企業向け売上高の推移（億円）

()前年同期比



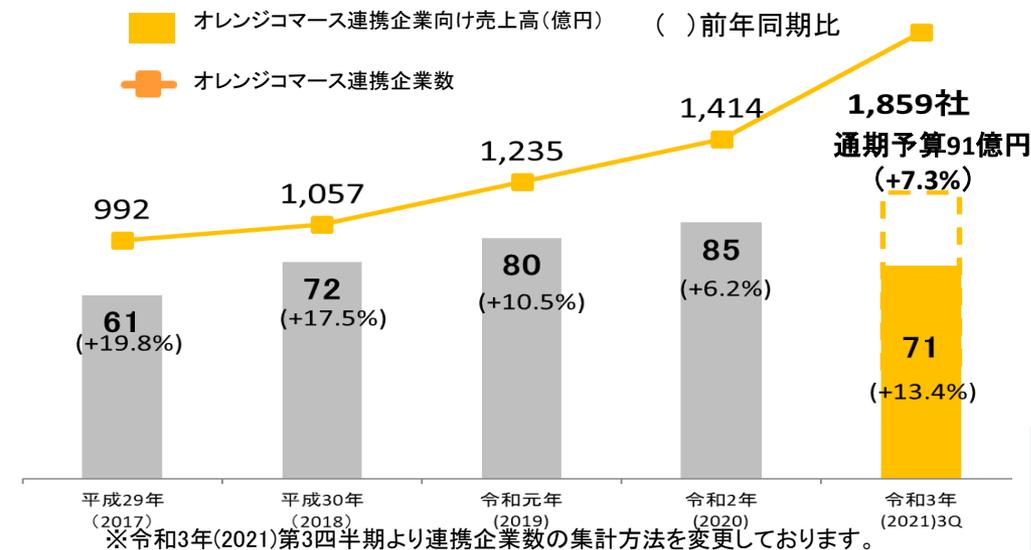
■ 通販企業向け売上高 業種別売上高構成比

令和3年(2021)12月期 第3四半期



B-⑤ 【連結】オレンジコマース(電子購買)連携数

■オレンジコマース(電子購買)売上高と連携数推移



■オレンジコマース(電子購買)とは

ユーザー様が仕入原価の低減や業務の効率化を目的として、購買の一連の流れをインターネット(システム)を利用して管理する方式。大手ユーザー様を中心に利用されています。



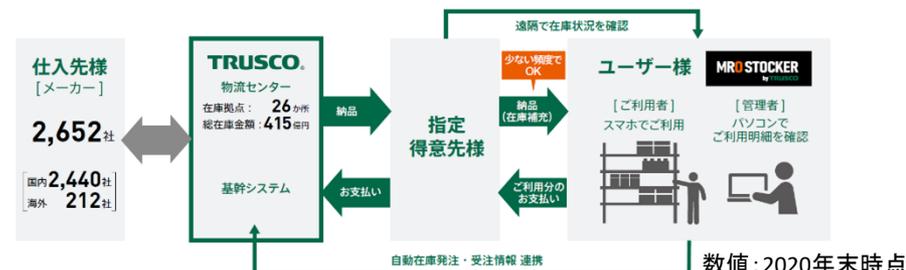
ユーザー様の購買システムとトラスコ中山のシステムが連携し、物流は販売店様との三社間で行っています。

置き薬ならぬ置き工具

■MROストックカーとは

当社は『がんばれ!!日本のモノづくり』を企業メッセージとして掲げ、製造業・建設業などの生産現場(ユーザー)における間接材を安定して供給することを使命としています。究極の納期ゼロを実現するために、『ユーザー様の敷地内に、受注見込みのある間接材を事前に置き、使った分だけ請求させてもらう』つまり、富山の置き薬ならぬ、置き工具=MROストックカーが、社長の中山より発案されました。

■MROストックカーの導入について



MROストックカー導入については、得意先様を通じてユーザー様にご紹介する方法やユーザー様から当社特設WEBサイトにご依頼があり、販売店様を介して導入する方法など経緯は様々ですが、当社からユーザー様へ直接販売はしておらず、必ず得意先様を通じてMROストックカーの導入を進めております。ご依頼から導入まで、大体1か月～3か月程度です。

置き薬ならぬ置き工具「MROストックカー」の導入加速

2021年9月末時点導入企業数・・・137件

B-⑥ 【連結】ホームセンタールート売上高 上位10社実績

プロツールの卸売業として、当社が得意とするプロツールの販売に特化し、ホームセンター様各社にプロツール売場の提案を積極的に行っています。今後は、プロショップ様・資材館のあるホームセンター様との取組を強化し、当社総合力をもってご来店されるお客様へのサービス向上につなげてまいります。

■ホームセンター得意先別売上高

(単位:百万円、%)

順位	得意先名	令和2年 (2020)12月期 第3四半期	令和3年 (2021)12月期 第3四半期	前年同期比
1	DCM ホダカ(株)(プロショップ)	1,553	1,822	+ 17.3
2	コーナン商事(株)	1,352	1,644	+ 21.6
3	(株)ナフコ	1,398	1,493	+ 6.8
4	DCMカーマ(株)	996	1,114	+ 11.8
5	ロイヤルHC(株)	986	1,009	+ 2.4
6	(株)カインズ	1,010	998	△ 1.1
7	DCMホームマック(株)	886	932	+ 5.2
8	(株)島忠	729	662	△ 9.1
9	(株)コメリ	525	568	+ 8.2
10	(株)ホームセンターバロー	416	515	+ 23.8
10社合計		9,854	10,762	+ 9.2
HCルート売上合計		12,580	13,326	+ 5.9
10社のルート売上占有率		78.0	80.7	

当社から調達いただける商品アイテム数が増加し、店舗での売り場を拡大していただいたことで、売上高が好調に推移しました。ホームセンター様は、ネットと店舗を融合させ、ご来店されるお客様へのサービスを向上させるという取組をされており、当社の在庫を便利にご利用いただいております。また、プロショップ様向けへの売上高も増加しております。

■DCMホールディングスへの売上高

合計:4,712百万円(前年同期比+7.5%)

DCMカーマ(株)、DCMホームマック(株)、DCMダイキ(株)、DCMサンワ(株)、DCMくろがねや(株)、ホダカ(株)、(株)ケーヨー、DCMオンライン

■プロショップ様向けの売上高

合計:2,077百万円(前年同期比:+19.0%)

プロの職人さんや工員さんが使用する工具などに特化して商品を販売している店舗をプロショップと呼んでいます。当社の取扱商品と親和性が高く、売上高が伸びている販売先です。

各企業名の敬称を省略しております。

B-⑦ 海外子会社の経営成績

■海外子会社の単体業績

令和3年(2021)12月期 第3四半期

(単位:百万円)

		売上高	売上 総利益	販売費及び 一般管理費	営業利益	経常利益	当期(四半期) 純利益
内)トラスコナカヤマ タイランド 1バーツ=3.30円 (前年3.34円)	実績	528	124	100	23	23	23
	率	-	23.6%	19.0%	4.5%	4.5%	4.5%
	前年 同期比	+29.1%	+26.9%	△7.9%	-	-	-
内)トラスコナカヤマ インドネシア 1ルピア=0.0078円 (前年0.0071円)	実績	224	56	97	△41	△39	△39
	率	-	25.0%	43.6%	-	-	-
	前年 同期比	+47.4%	+81.9%	+16.2%	-	-	-

【第59期の取り組み】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、タイでは非常事態宣言の継続、インドネシアでも社会活動制限が再強化される中、市場のニーズに即した在庫拡充を進めました。また、課題解決による既存得意先様との取引拡大が絶対的課題であり、営業力の強化を進めております。

【参考】親会社におけるその他海外地域の売上高実績

令和3年(2021)12月期 第3四半期

(単位:百万円)

		売上高	売上 総利益
その他海外地域への売上高実績 (フィリピン、中国、韓国など)	実績	475	131
	率	-	27.7%
	前年 同期比	+46.7%	+62.7%

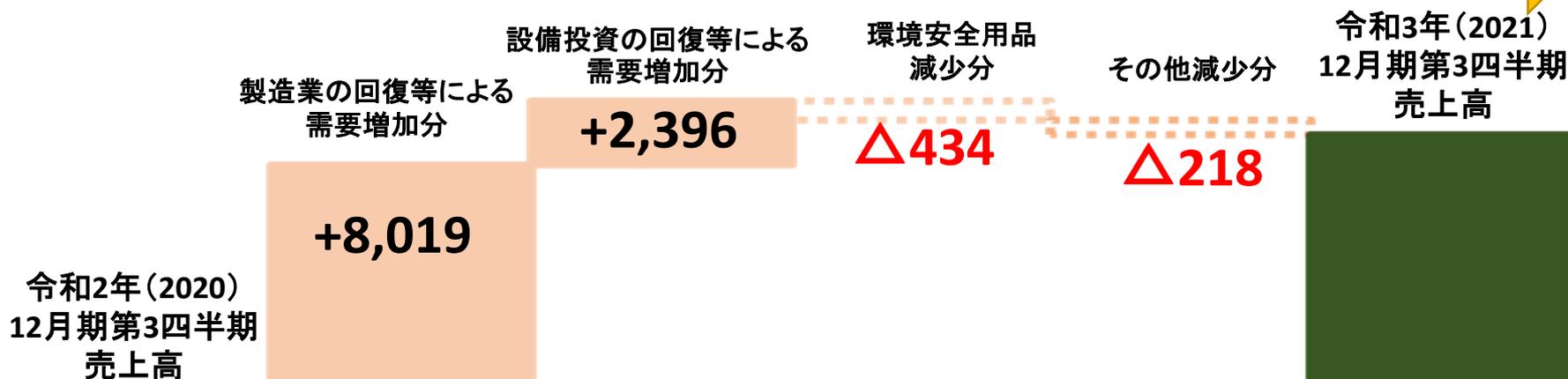
※連結仕訳(内部取引相殺など)の影響で、連結海外ルートの上総利益率は単体より高くなっています。

B-⑧ 【親単体】令和3年(2021)12月期第3四半期 売上分析

(単位:百万円)

令和3年(2021)12月期第3四半期 売上分析

売上高 9,763百万円増加



《主な内訳》

【製造業の回復等による消耗品需要増加分】+8,019百万円

- ・ハンドツール(手作業工具、電動工具等) : +2,253百万円
- ・作業用品(接着剤、テープ等) : +1,956百万円
- ・オフィス住設用品(安全靴、飛沫防止パネル等) : +1,082百万円 など

【設備投資の回復による機器類需要増加分】+2,396百万円

- ・物流保管用品(台車、スチール棚等) : +1,436百万円
- ・工事用品(発電機、ポンプ、はしご等) : +960百万円

【環境安全用品減少分】△434百万円

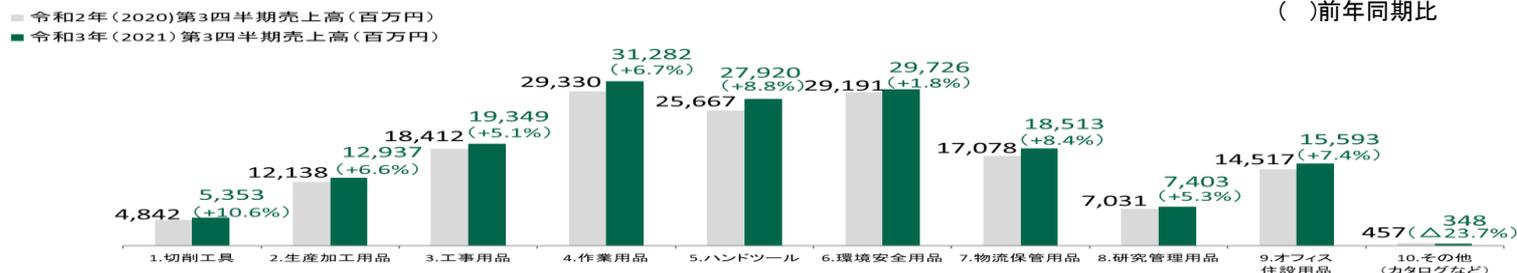
- ・保護具 : △372百万円 など

168,429
(+6.2%)

158,666

B-⑨ 【親単体】令和3年(2021)12月期第3四半期 商品分類別売上分析(大分類・中分類)

大分類別売上高グラフと中分類内訳



構成比(%)

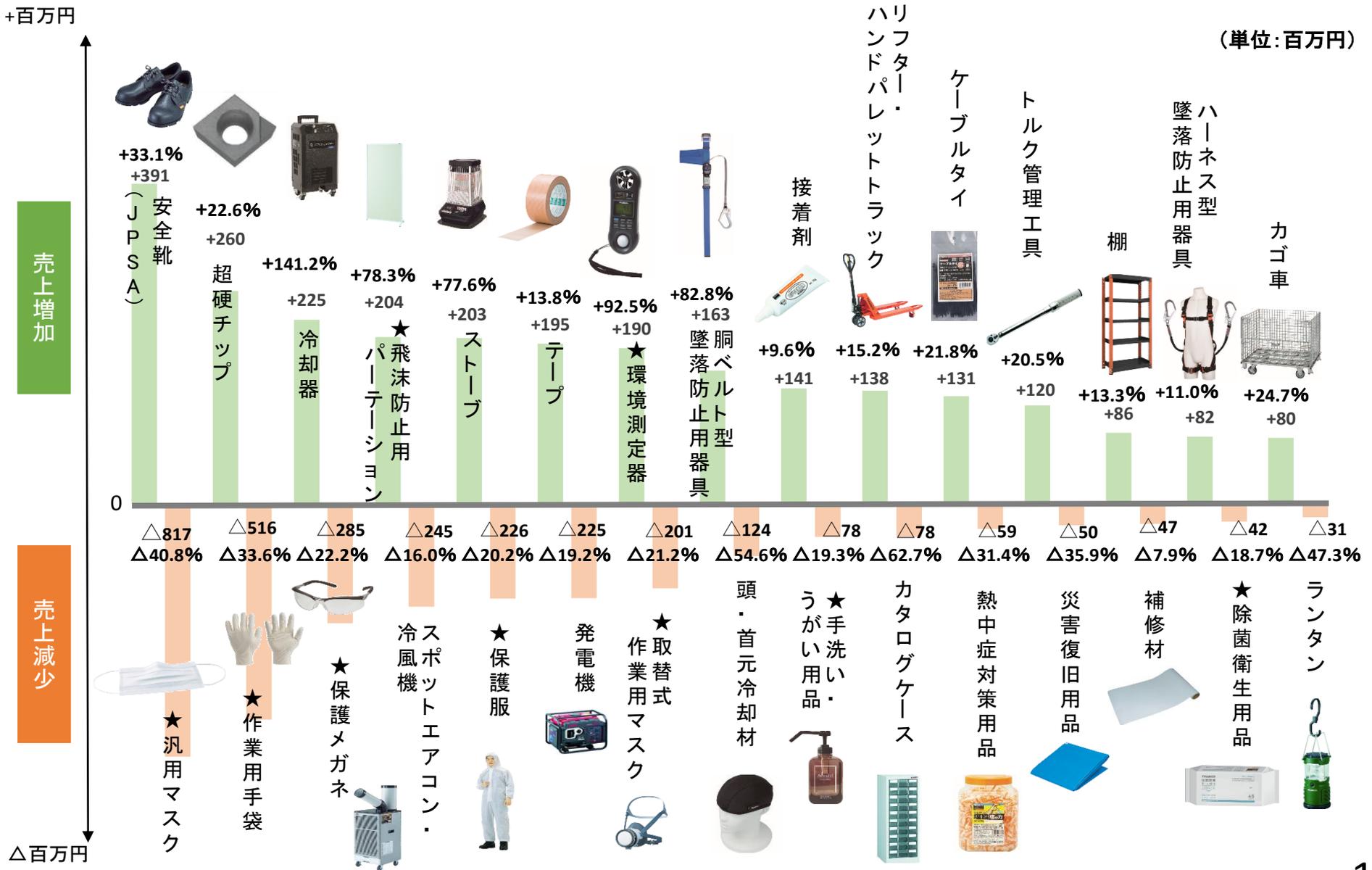
(単位:百万円、%)

商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年同期比	粗利率	商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年同期比	粗利率		
1. 切削工具 3.2	① 切削工具	2,570	1.5	+17.9	11.4	6. 環境安全用品 17.6	㉕ 保護具	15,691	9.3	△2.3	24.1		
	② 穴あけ・ネジきり工具	2,783	1.7	+4.6	21.9		㉖ 安全用品	7,312	4.3	+8.9	25.8		
2. 生産加工用品 7.7	③ 測定計測	6,761	4.0	+7.6	15.9		㉗ 環境改善用品	1,550	0.9	+10.6	19.8		
	④ メカトロニクス	2,673	1.6	+5.1	15.5		㉘ 冷暖房用品	2,936	1.7	△2.1	16.2		
	⑤ 工作機工具	1,576	0.9	+4.0	23.7		㉙ 防災・防犯用品	802	0.5	+23.6	19.3		
	⑥ 電動機械	1,925	1.1	+7.5	11.0		㉚ 物置・エクステリア用品	1,431	0.8	+5.1	20.5		
	3. 工事用品 11.5	⑦ 油圧工具	1,392	0.8	+1.7		11.4	7. 物流保管用品 11.0	㉛ 荷役用品	5,282	3.1	+4.9	17.5
		⑧ ポンプ	2,452	1.5	+2.1		16.4	㉜ コンベヤ	842	0.5	+2.7	15.8	
⑨ 溶接用品		1,540	0.9	+4.8	18.2		㉝ 運搬用品	6,969	4.1	+12.4	22.8		
⑩ 塗装・内装用品		1,720	1.0	+0.8	26.1		㉞ コンテナ・容器	2,755	1.6	+8.8	30.6		
⑪ 土木建築		1,851	1.1	△2.3	12.6	㉟ スチール棚	2,664	1.6	+7.0	27.0			
⑫ はしご・脚立		2,250	1.3	+3.7	22.1	8. 研究管理用品 4.4	㉟ ツールワゴン	713	0.4	+5.8	28.7		
⑬ 配管・電設資材	2,815	1.7	+11.7	23.1	㊱ 保管・管理用品		916	0.5	+8.4	31.6			
⑭ 部品・金物・建築資材	5,325	3.2	+9.2	27.2	㊲ 作業台		1,172	0.7	+18.8	30.2			
4. 作業用品 18.6	⑮ 切断用品	1,062	0.6	+8.4	22.0		㊳ ステンレス用品	1,405	0.8	+7.7	18.5		
	⑯ 研削・研磨用品	5,294	3.1	+5.4	23.1	㊴ 研究開発関連用品	3,196	1.9	△0.7	18.7			
	⑰ 化学製品	15,786	9.4	+6.0	21.8	9. オフィス住設用品 9.2	㊵ 清掃用品	4,548	2.7	+7.3	21.9		
	⑱ 工場雑貨	2,900	1.7	+3.8	16.1		㊶ 文具用品	1,718	1.0	+16.2	19.3		
	⑲ 梱包結束用品	4,108	2.4	+12.1	31.7		㊷ オフィス雑貨	2,363	1.4	+5.7	26.9		
	⑳ キャスター	2,129	1.3	+8.0	18.4		㊸ 電化製品	2,410	1.4	+1.8	22.3		
5. ハンドツール 16.6	㉑ 電動工具・用品	7,379	4.4	+6.5	14.5		㊹ OA事務用機器	1,558	0.9	+23.1	25.9		
	㉒ 空圧工具用品	4,598	2.7	+6.5	18.2		㊺ 事務用家具	2,778	1.6	+1.9	24.8		
	㉓ 手作業工具	14,508	8.6	+11.0	21.5	㊻ インテリア用品	217	0.1	+7.7	19.4			
	㉔ 工具箱	1,432	0.9	+6.6	29.9	10. その他 0.2	㊼ 全体	348	0.2	△23.7	-138.4		
合計		168,429	100.0	+6.2	21.1								

B-⑩ 【親単体】令和3年(2021)12月期第3四半期 商品分類別売上分析(小分類)

■令和3年(2021)12月期第3四半期 売上増減グラフ

★:新型コロナウイルス感染症関連需要



B-⑪ 【親単体】令和3年(2021)12月期第3四半期 トラスコ オレンジブック掲載カテゴリ別売上高

分類	売上高	前年同期比	分類	売上高	前年同期比	分類	売上高	前年同期比
1.切削工具	57億16百万円	+9.9%	9.手作業工具	132億34百万円	+10.9%	17.搬送機器	68億67百万円	+11.1%
2.工作機工具	18億84百万円	+6.8%	10.電動・油圧・空圧工具	160億26百万円	+6.1%	18.清掃・衛生用品	94億10百万円	+4.9%
3.測定・計測用品	74億87百万円	+10.9%	11.保護具	160億48百万円	△5.1%	19.環境改善用品	74億81百万円	+10.9%
4.メカトロ部品	22億63百万円	+4.5%	12.安全用品	38億97百万円	+11.8%	20.園芸用品	15億35百万円	+12.7%
5.金物・建築資材	60億67百万円	+9.4%	13.梱包用品	108億16百万円	+7.8%	21.オフィス・住設用品	75億90百万円	+3.4%
6.空圧用品	35億38百万円	+9.4%	14.工事・照明用品	153億93百万円	+1.9%	22.研究用品	41億41百万円	+10.9%
7.電子機器	32億18百万円	+15.4%	15.荷役用品	59億40百万円	+3.5%			
8.化学製品	102億23百万円	+5.4%	16.物流・保管用品	96億99百万円	+9.1%			

●お客様の利便性を高めるツール

トラスコ
オレンジブック

TRUSCO ●モノづくり大辞典
オレンジブック

モノづくり現場で必要とされるあらゆるプロツールを掲載しているカタログ。紙カタログの見やすさとWEBの携帯性・検索性を融合した「トラスコ デジタルオレンジブック」も提供しています。

掲載商品数：約471,000アイテム(2021年版)
 掲載メーカー数：1,851社
 総ページ数：17,136ページ
 年間発行部数：190,000部
 サイズ：A4判

トラスコ
オレンジブック.Com

TRUSCO
オレンジブック.Com
工場・作業現場のプロツール総合サイト

プロツールの商品検索や購入を目的とした総合サイト。商品見積・注文・返品が可能で、リアルタイムで在庫が確認できます。一昨年リニューアルし、検索性や利便性が更に向上しました。

公開アイテム数：約271万点
 システム受注率：85.2%
 商品の安全データシートや図面、
 含有物調査票もダウンロード可能
 24時間対応

コミュニケーションツール
「T-Rate(トレイト)」

T-Rate. (トレイト)

①チャット機能 ②配達状況確認機能 ③タイムライン機能

得意先様との新しいコミュニケーションツールとして、得意先様が気軽に商品について問い合わせができ、最新の情報を受信できるサービスです。

～「T-Rate(トレイト)」の機能～

- ① 当社担当者とのチャット機能
- ② 配達便の到着時刻や配達商品などがわかる 配達状況確認機能
- ③ 当社の活動やPR商品をメッセージ配信する タイムライン機能

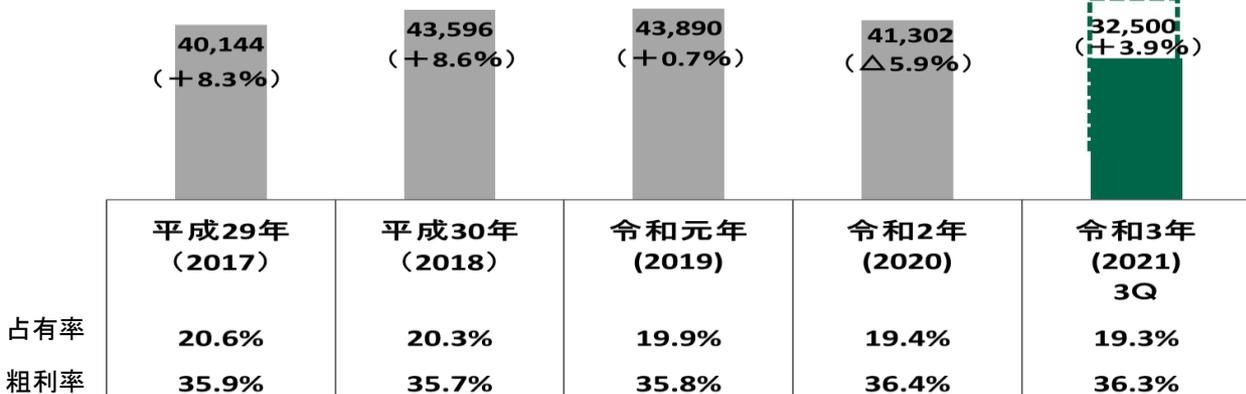
B-⑫ 【親単体】令和3年(2021)12月期第3四半期 プライベート・ブランド(PB)商品売上高

プライベート・ブランド商品においても新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る環境安全用品の需要が一服しました。製造業の回復もありましたが、その他の商品群に関しては前年同期比微増または微減で推移しました。

▶PB商品 売上高推移

単位:百万円
()前年同期比

通期計画:440億円



▶プライベート・ブランド(PB)商品

「プロフェッショナルな技にプロフェッショナルなクオリティで応えたい」という想いから誕生した自社ブランド「TRUSCO」。可能な限りひと工夫を加え、工場用副資材のブランドの中で最も幅広く、毎年約10,000アイテムの新規商品を開発しています。



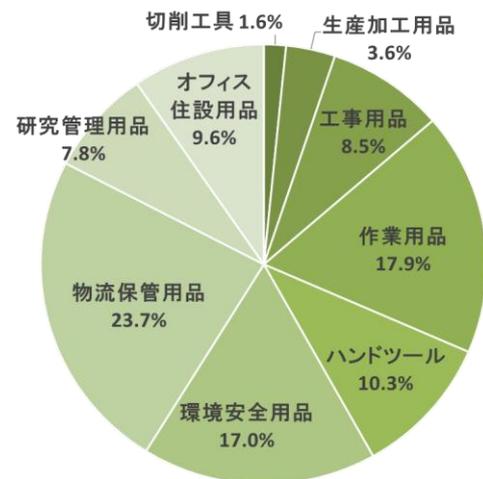
▶PB商品 セグメント別・商品分類別売上高

(単位:百万円)
※海外ルートは除く

セグメント 商品分類	全体		ファクトリー		eビジネス		ホームセンター	
	構成比	粗利率	構成比	粗利率	構成比	粗利率	構成比	粗利率
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比
合計	32,500	+3.9%	23,771	+2.4%	7,796	+9.9%	716	△10.2%
切削工具	519	+2.0%	372	+2.0%	87	△1.2%	51	+2.8%
生産加工用品	1,160	+7.6%	844	+5.9%	282	+13.5%	13	△14.0%
工事用品	2,760	+6.7%	1,978	+4.0%	720	+14.3%	45	+2.0%
作業用品	5,802	+5.7%	4,581	+4.6%	1,120	+10.5%	59	△0.6%
ハンドツール	3,358	+5.3%	2,356	+3.6%	851	+10.2%	91	△11.5%
環境安全用品	5,525	△11.6%	4,203	△10.9%	1,217	△8.9%	89	△48.3%
物流保管用品	7,715	+10.5%	5,445	+9.1%	1,907	+16.9%	331	+1.7%
研究管理用品	2,523	+10.8%	1,869	+7.2%	637	+23.2%	2	△20.6%
オフィス住設用品	3,131	+7.3%	2,119	+4.3%	970	+13.9%	28	+59.3%
その他	2	△28.7%	0	+1.0%	-	-	2	△28.7%

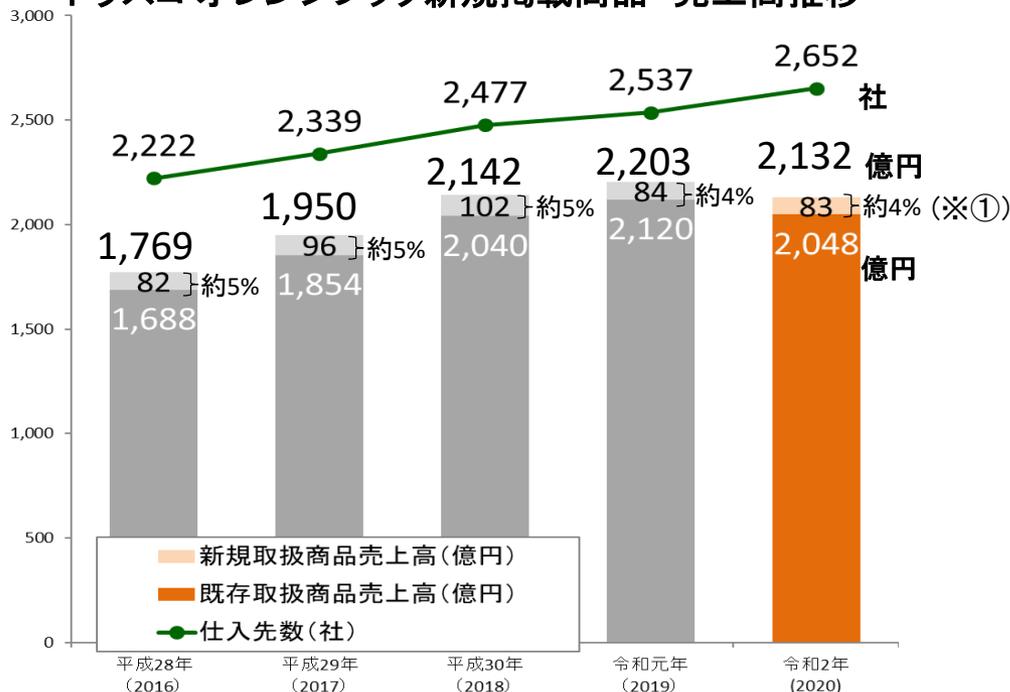
▶PB売上高商品分類別構成比

令和3年(2021)12月期 第3四半期

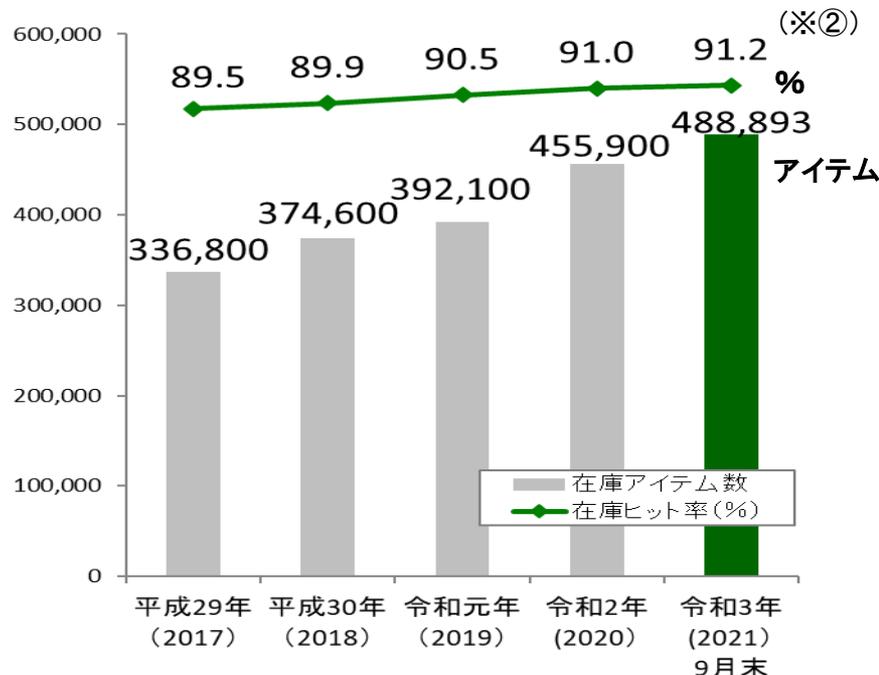


C-① 仕入先数及び新規掲載商品売上高／在庫アイテム数及びヒット率／販売口座数及び法人数

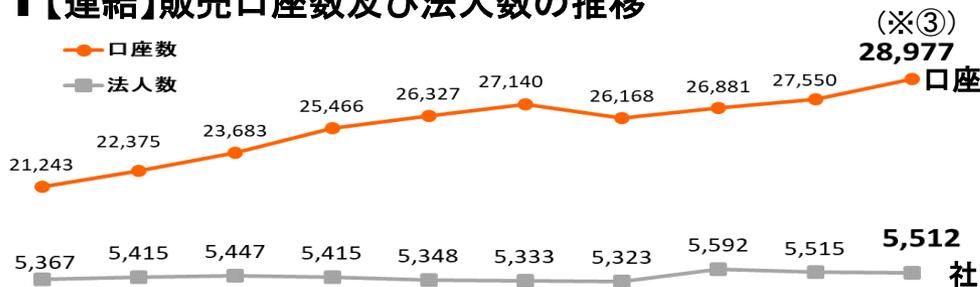
Ⅰ【親単体】仕入先数の推移及び全社売上高におけるトラスコ オレンジブック新規掲載商品 売上高推移



Ⅱ【親単体】在庫アイテム数及び在庫ヒット率の推移



Ⅲ【連結】販売口座数及び法人数の推移



※①売上高のうち4%程度は、その年に商品カタログ「トラスコ オレンジブック」へ新規掲載された商品の売上高で構成されています。

※②在庫ヒット率＝在庫から出荷した商品の行数÷全注文行数

※③小規模法人の廃業等により法人数は横ばいですが、多店舗を持つ法人とのお取引が増加しているため、口座数は増加傾向にあります。

※令和元年(2019)より海外子会社を含む法人数・口座数を追加しています。

C-② 【親単体】物流データ

■配達便・社内間配送便 台数

令和3年(2021)9月末時点

	台数	前期末比
総配達便数	277台	+7台
傭車便(契約配達便)	161台	+1台
自社配達便	116台	+6台
社内間配送便	28台	△4台
傭車便(契約便)	25台	△3台
自社便	3台	△1台
配達便・社内間輸送便 計	305台	+3台

配達便について

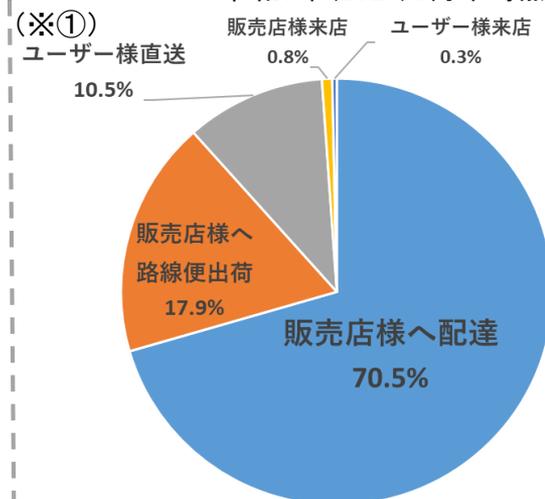
配送ルートや在庫の社内移動を効率化することで配達便・社内間配送便の見直しをすすめ、台数の適正化を図っています。

また、お客様へのサービス向上を目指し、自社配達便(当社社員による配達便)の台数を増やしています。現在の自社便率は**41.9%**です。今後は自社便率50%まで高めていく予定です。

■納品区分の実績

【受注行数ベース】

令和3年(2021)9月末時点



※①ユーザー様直送については依頼された得意先様に運賃をご負担いただいております。

C-③ 【親単体】システム稼働状況

■システム受注実績

令和3年(2021)12月期 第3四半期

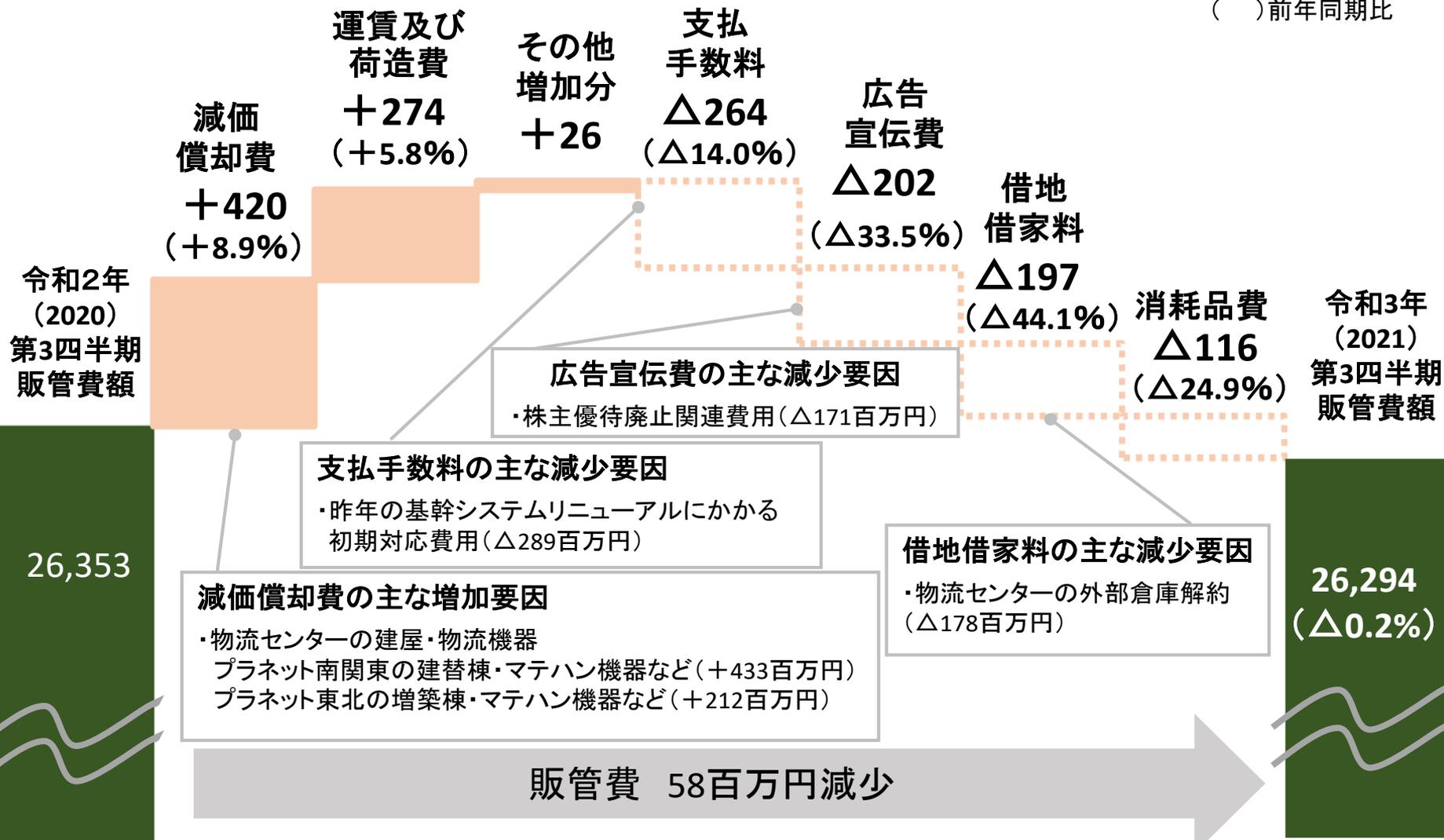
受注実績	受注行数(行)	行数占有率	行数占有率前期末比(pt)	受注金額(百万円)	金額占有率	金額占有率前期末比(pt)
トラスコ オレンジブック.Com (販売店様、ユーザー様用)インターネット受発注	11,248,997	39.9%	△0.2	71,192	42.3%	+0.8
トラスコEDI 販売店様発注システムとのデータ連携	6,052,155	21.5%	+1.8	21,656	12.9%	+1.2
オレンジコマース ユーザー様購買システムとの連携	593,132	2.1%	+0.2	3,865	2.3%	+0.3
DOTKUL (ドットクル) FAX-OCR (※②)	67,420	0.2%	△0.5	297	0.2%	△0.5
EOS ホームセンター電子発注システム	6,070,893	21.5%	△0.1	12,541	7.4%	±0
計	24,032,597	85.2%	+1.3	109,554	65.0%	+1.8

当社の商品データを連携させることにより、お客様への利便性向上を図ります。システム受注率は年々増加傾向です。

※②FAX-OCR DOTKUL(ドットクル)は利用率の低下により、2021年5月にサービスを終了しました。

D-① 【連結】令和3年(2021)12月期第3四半期 販売費・一般管理費の主な増減内容

単位:百万円
()前年同期比



増減要因の詳細は23ページをご参照ください。

D-② 【連結】令和3年(2021)12月期第3四半期 販売費・一般管理費の詳細

■販売費及び一般管理費の詳細

(単位:百万円、%)

【親単体】主な項目について

No.	令和2年(2020)12月期 第3四半期		令和3年(2021)12月期 第3四半期		前年 増減額	前年 同期比	
	実績	売上高構成比	実績	売上高構成比			
1	給料及び賞与	8,159	5.1	8,136	4.8	△22	△ 0.3
2	減価償却費	4,723	3.0	5,144	3.0	+420	+8.9
3	運賃及び荷造費	4,715	3.0	4,990	3.0	+274	+5.8
4	福利厚生費	1,592	1.0	1,652	1.0	+59	+3.8
5	支払手数料	1,884	1.2	1,620	1.0	△264	△ 14.0
6	租税公課	1,065	0.7	1,005	0.6	△59	△ 5.6
7	賞与引当金繰入額	962	0.6	942	0.6	△19	△ 2.0
8	広告宣伝費	604	0.4	402	0.2	△202	△ 33.5
9	消耗品費	468	0.3	352	0.2	△116	△ 24.9
10	旅費及び交通費	365	0.2	349	0.2	△16	△ 4.4
11	役員報酬	324	0.2	316	0.2	△8	△ 2.5
12	通信費	291	0.2	298	0.2	+7	+2.5
13	借地借家料	448	0.3	250	0.1	△197	△ 44.1
14	水道光熱費	276	0.2	232	0.1	△44	△ 16.1
15	車両費	177	0.1	202	0.1	+25	+14.3
16	交際費	16	0.0	16	0.0	+0	+4.3
17	販売促進費	61	0.0	△32	△ 0.0	△93	—
18	その他	216	0.1	414	0.2	+197	+91.0
	計	26,353	16.6	26,294	15.6	△58	△ 0.2

() 前年同期比

・物流センターの建屋・物流機器
プラネット南関東の建替棟・マテハン機器など
(+433百万円)
プラネット東北の増築棟・マテハン機器など
(+212百万円)

・出荷量増加等による影響(+307百万円)
うち、ユーザー様直送の増加(+165百万円)
注)ユーザー様直送については依頼された
得意先様に運賃をご負担いただいております。
⇒出荷個数 458万個(+56万個)

【参考】
備車台数 186台(前期末比△2台)
自社社員配達便 119台(前期末比 +5台)

・昨年の基幹システムリニューアルにかかる
初期対応費用(△289百万円)

・株主優待廃止関連費用(△171百万円)
・60周年記念誌発刊費用(△28百万円)

・物流センターの外部倉庫解約
(△178百万円)

・プラネット東北地震に伴うマテハン修繕費
(+121百万円)

D-③ 【連結】令和3年(2021)12月期第3四半期 財務諸表

■貸借対照表

(令和3年9月30日現在) 単位(百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	111,298	流動負債	41,172
現金及び預金	38,366	買掛金	16,542
売掛金	26,292	短期借入金	17,000
電子記録債権	1,167	未払金	2,417
商品	44,006	未払法人税等	2,156
その他	1,467	賞与引当金	950
貸倒引当金	△0	役員賞与引当金	99
固定資産	106,263	その他	2,007
有形固定資産	95,840	固定負債	37,957
建物	48,745	長期借入金	35,000
機械及び装置	7,825	役員退職慰労引当金	151
工具、器具及び備品	1,872	長期預り保証金	2,712
土地	34,437	その他	93
建設仮勘定	850	負債合計	79,130
その他	2,109	(総資産の部)	
無形固定資産	5,657	株主資本	138,356
ソフトウェア	5,518	資本金	5,022
その他	138	資本剰余金	4,711
投資その他の資産	4,766	利益剰余金	128,701
投資有価証券	3,014	自己株式	△78
繰延税金資産	1,230	その他の包括利益累計額	75
再評価に係る繰延税金資産	157	その他有価証券評価差額金	711
その他	374	土地再評価差額金	△357
貸倒引当金	△10	為替換算調整勘定	△279
資産合計	217,562	純資産合計	138,431
		負債純資産合計	217,562

■キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	令和2年(2020年)12月期 第3四半期	令和3年(2021年)12月期 第3四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,779	11,734	+2,954
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,061	△3,496	+4,564
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,724	△2,242	△9,966
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45	8	+53
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,397	6,003	△2,393
現金及び現金同等物の期首残高	18,330	32,344	+14,014
現金及び現金同等物の期末残高	26,727	38,348	+11,620

自己資本比率: 63.6%

貸借対照表について

①商品(在庫金額)

取扱商品アイテム数を拡大しつつ、1品目当たりの在庫数においては、商品の地域特性や販売頻度を考慮し、全国の物流センターにおいて適正数量への見直しを行っています。

②固定資産

当社では、「持つ経営」を実践しており、事業の根幹を支える物流センター、本社ビル、支店、データセンター、自社配達便のトラック、営業車などを自社所有しています。

D-④ 【連結】令和3年(2021)12月期第3四半期 設備投資等の状況

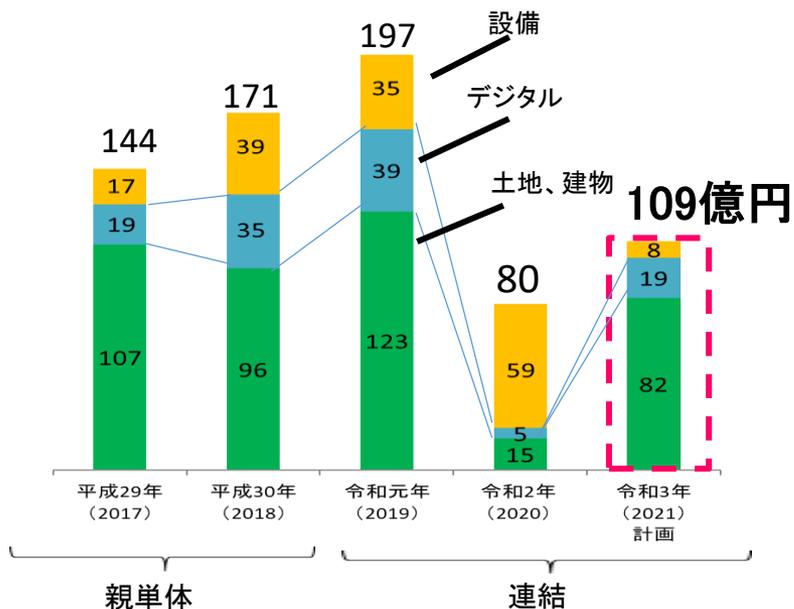
■主な設備投資の実績と予定

59期投資計画:109億円

令和3年(2021) 主な設備投資 内訳			1Q~3Q 投資実績額	4Q 投資予定額
土地 建物	物流センター	プラネット愛知 新築計画、HC東日本物流センター 移転計画 等	1,484	1,056
	その他	大阪本社 購入、社員寮 購入 等	1,595	4,196
物流設備	プラネット埼玉	I-Pack®(アイパック)、AutoStore(オートストア)へのピッキングロボット導入 等	375	351
	その他	新型ハンディターミナル導入、各種機器増設 等		
システム	商品データベースSterra(ステラ)リニューアル、ネットワーク・セキュリティ関連改修		310	1,622
	AI開発、ホームページリニューアル 等			
小計			3,765	7,225
年間設備投資額			10,990	

■設備投資額の推移

(単位:億円)



設備投資額に関して

- ・設備投資予定額には、計画中のものも含まれている為、投資金額は変動する場合がございます。
- ・第59期はキャッシュアウトベースの金額にて記載しております。

令和3年(2021)12月期の減価償却費は約69億円(前年比+4億円)を予定しております。

E-① 今期の計画

◆ 予算策定について

予算は「全国の支店長が策定した支店年間予算」の合計を全社予算として採用しています。マーケットを熟知した支店長が、人員配置を含めた戦略を練り実行し、自身が最終責任をとるという意味で予算策定をしています。固定資産の譲渡に伴う特別利益の計上により、令和3年11月1日に親会社株主に帰属する当期純利益の上方修正を行いました。なお、事業活動に直接関わりのない特別利益のため、令和3年2月開示の配当方針に基づき1株当たりの配当金は修正していません。

	令和2年(2020)12月期						【修正後計画】 令和3年(2021)12月期						【修正前計画】 令和3年(2021)12月期				
	(連結)			(単体)			(連結)				(単体)		(連結)		(単体)		
	実績 (百万円)	前期差額 (百万円)	前期比 (%)	実績 (百万円)	前期差額 (百万円)	前期比 (%)	計画値 (百万円)	当初計画差額 (百万円)	当初計画比 (%)	前期差額 (百万円)	前期比 (%)	計画値 (百万円)	前期比 (%)	計画値 (百万円)	前期比 (%)	計画値 (百万円)	前期比 (%)
売上高	213,404	▲7,270	96.7	213,205	▲7,151	96.8	227,520	-	-	+14,115	106.6%	227,000	106.5	227,520	106.6	227,000	106.5
売上総利益	45,909	▲1,124	97.6	45,733	▲1,123	97.6	48,310	▲650	▲1.3%	+2,400	105.2%	48,050	105.1	48,960	106.6	48,700	106.5
売上総利益率(%)	21.5%	+0.2pt	-	21.5%	+0.2pt	-	21.2%	▲0.3pt	-	▲0.3pt	-	21.2%	-	21.5%	-	21.5%	-
販売費及び一般管理費	34,891	+1,654	105.0	34,630	+1,695	105.1	35,140	▲650	▲1.8%	+248	100.7%	34,850	100.6	35,790	102.6	35,500	102.5
営業利益	11,017	▲2,779	79.9	11,102	▲2,818	79.8	13,170	-	-	+2,152	119.5%	13,200	118.9	13,170	119.5	13,200	118.9
経常利益	11,559	▲2,638	81.4	11,635	▲2,667	81.3	13,820	-	-	+2,260	119.6%	13,840	118.9	13,820	119.6	13,840	118.9
当期純利益	8,007	▲1,606	83.3	8,085	▲1,629	83.2	11,970	+2,450	+25.7%	+3,962	149.5%	12,000	148.4	9,520	118.9	9,550	118.1
1日当たり売上高	-	-	-	892	▲45	95.1	-	-	-	-	-	945	106.0	-	-	945	106.0
PB商品売上高	-	-	-	41,302	▲2,588	94.1	-	-	-	-	-	44,000	106.5	-	-	44,000	106.5
実働稼働日数	-	-	-	239日	+4日	-	-	-	-	-	-	240	-	-	-	240	-
1株当たり当期純利益	121円 43銭	▲24円 35銭	-	122円 62銭	▲24円 70銭	-	181円 52銭	+37円 15銭	-	+60円 09銭	-	181円 98銭	+59円 36銭	144円 37銭	-	144円 82銭	+22円 20銭
1株当たり配当金	30円 50銭	▲6円 00銭	-	-	-	-	36円 50銭	-	-	+6円 00銭	-	-	-	36円 50銭	-	-	-

この経営計画は本資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは異なる可能性があります。

E-② 第59期 主な設備投資・トピックス

問屋によるユーザー様直送という環境保全 納期・梱包資材・配送運賃・環境負荷半減

通販企業様による商品調達がモノづくり現場で浸透するにつれ、ユーザー様直送の依頼が急激に増加しています。

通販企業様各社とのお取り組みの伸長や業界全体の人手不足、ユーザー様からの納期短縮要請などを鑑みると、今後もユーザー様直送件数が増え続けるのは確実であり、直送体制の強化が必須と考えています。

■I-Pack 出庫能力:720cs/h(1ライン)、約24人分
導入センター:プラネット東北、埼玉、東海、大阪
(プラネット埼玉:2ライン、その他各1ライン 計5ライン)

■全国の物流センターからのユーザー様直送

ユーザー様直送行数 **206.8万個口** (前年同期比 +24.4%)

ユーザー様直送売上高 **130.7億円** (前年同期比 +18.2%)

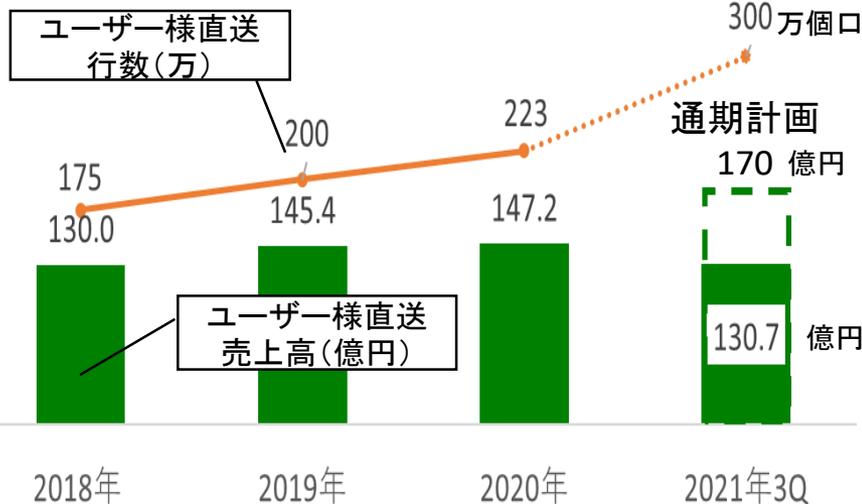
今期計画値

300万個口

通期計画

170億円

130.7億円



今後の具体的な取り組み

■プラネット埼玉 I-Pack(高速自動梱包出荷ライン)出荷能力の最大値の引き上げ

今期投資予定額:約2.7億円



設備名	設備数		能力	
	現在	今後	現在	今後
① I-Packライン	2ライン	3ライン(+1)	1日当たり 8,000箱投入	1日当たり 15,200箱投入
② I-Pack用GAS [仕分けシステム]	2台	6台(+4)		
③ I-Pack作業場	10か所	19か所(+9)		
④ 方面仕分け ロボット	-	1基(+1)	-	1時間当たり 300仕分け

各地での物流センター用地取得

1. プラネット愛知

■所在地 : 愛知県北名古屋市

(北名古屋沖村西部土地区画整理事業地)

■敷地面積:12,595坪

■今期投資金額:約14.1億円 ■総投資額:約200億円(計画中)

■借地料:月額約570万円

2. HC東日本物流センター

■所在地 : 新潟県三条市福島新田 ■敷地面積:7,986坪

■今期投資金額:約3.8億円 ■総投資額:約50億円(計画中)

E-③ トラスコのサステナビリティ(1)

■基本方針

～TSV(TRUSCO Shared Value)～

当社は、プロツールサプライヤーとして、いつの時代も日本のモノづくりのお役に立ち続ける企業でありたいと考えています。「人や社会のお役に立ててこそ事業であり、企業である」というところざしのもと、事業を通じて社会価値と企業価値の両方を生み出すことで、社会課題の解決や持続可能な地域社会へ貢献します。

※TSV(TRUSCO Shared Value) はTRUSCO+CSV(Creating Shared Value: 共有価値の創造)から命名しています。

■重要課題(マテリアリティ)

基本方針(TSV)をもとにサステナビリティ上の重要課題(マテリアリティ)を特定しました。これらの重要課題に事業を通じて取り組み、持続可能な社会へつなげていきます。

①サプライチェーンの全体最適化

モノづくりを支えるプラットフォームとなり、サプライチェーンを最適化することで、人にも環境にも優しいサステナブルなプロツール流通を実現する。

②多様化するニーズに応える商品の企画・開発

多様化するモノづくり現場のニーズ、トレンドを捉え、当社オリジナルの価値をPB商品開発で提供することで、モノづくりの合理化や、生産性向上、競争力強化に貢献します。

③個人の能力を最大限発揮できる 環境整備と人材育成

モチベーションを常に高く保ち、一人ひとりが持つ能力を十分に発揮できる環境を整えることで、企業の成長につなげます。

④事業活動を通じた環境への取り組み

当社では事業活動、PB製品などにおいて、自社のみでなく、自社製品を使用するユーザー様まで環境負荷低減に貢献し、日本の製造業の環境活動のお役に立ちます。

⑤縁ある人々・地域社会への貢献

障がい者支援、協賛や広告を通じた地域・社会とのコミュニケーションを通じて、縁ある人々との関係性を大切にします。

⑥取捨善択を判断基準とするガバナンス

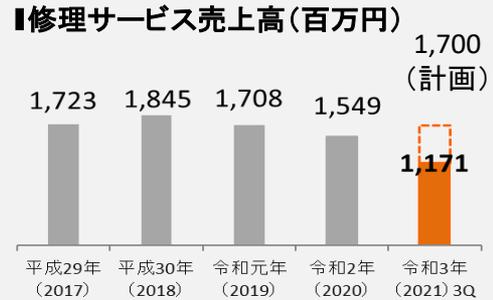
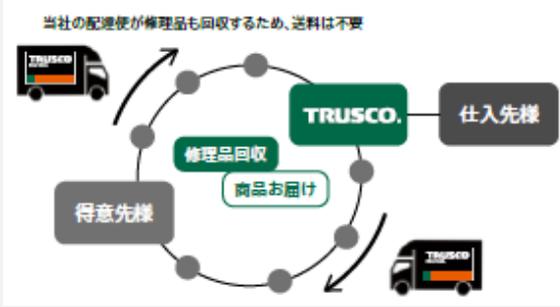
経営の公正性及び透明性を高め、迅速かつ的確な意思決定の下、法律、社会規範に則した事業活動を行います。

E-③ トラスコのサステナビリティ(2)

事業活動を通じた環境への取組み

■修理工房「直治郎(なおじろう)」

一般的に、修理対象商品のカテゴリごとに依頼先が異なることが多いですが、「直治郎」サービスを活用することで、当社に一括依頼することができます。また、配送ドライバーや営業担当者が随時商品を回収するため、基本的に得意先様の梱包の手間や送料は不要となり、プロツールの再利用と得意先様の効率を両立した固定費型物流だからこそ実現できるサービスです。2022年1月からは直治郎課を再設し、サービスの浸透・向上に努めます。



■ごみの出ない物流

遠方のお客様へ商品をお届けする際は、自社ブランド「TRUSCO」の「リターンクッション」という独自開発の緩衝材を使用し、折りたたみコンテナに入れて出荷しています。これらは何度も繰り返し利用でき、ごみの削減のため活用しています。



▲TRUSCO リターンクッション 20L用 イエロー(TRC-20L-Y)

■トラスコ発電所(全国19か所)

物流センターや支店、本社社屋の屋上や壁面に自社発電設備の設置を進めています。今後も社屋の新設時には太陽光パネルの設置を行い、再生可能電力の自社発電能力を2025年までに3,500kWにすることを目指しています。



▲プラネット埼玉屋上の太陽光パネル

■年間発電量合計
255万1,776kWh
■電力自給率 18.9%

■「TRUSCO」商品の環境対応

自社ブランド「TRUSCO」の商品企画開発において「省資源」「ごみを減らす」「長く使える」など独自の環境基準を定め、製品設計から商品の使用、廃棄に至るまでの各側面から環境に配慮した商品開発を進めています。

▶TRUSCO
ハンドソープ 新・洗手観音(TSK-11-A)
海洋汚染の原因となるマイクロプラスチックビーズではなく、果実「羅漢果(らかんか)」の殻で作った天然スクラブ剤を使用した、環境に優しいハンドソープです。



参考資料①－株式情報

■株主情報

(単位:名)

	平成30年 (2018) 12月末	令和元年 (2019) 6月末	令和元年 (2019) 12月末	令和2年 (2020) 6月末	令和2年 (2020) 12月末	令和3年 (2021) 6月末
株主合計	29,997	19,776	40,106	23,697	16,336	14,903
単元株主	29,408	19,054	39,494	22,887	15,514	14,030
単元未満株主	588	721	611	809	821	872
自己名義株式	1	1	1	1	1	1
金融機関・証券会社	63	73	61	64	65	69
国内法人	657	563	690	574	553	544
外国法人等	228	210	252	210	201	203
個人その他	29,048	18,929	39,102	22,848	15,516	14,086
自己名義株式	1	1	1	1	1	1

■株主優待制度の廃止について

【令和2年(2020)8月21日発表】

当社では、株主様への感謝と、より多くの方々に当社株式を保有いただくことを目的に株主優待制度を平成6年度に導入し、以来、株主様数は順調に増加し、第58期(2020)末には約5万名になることが予想されました。

それに伴い、株主様優待商品の費用が第57期(2019)は約1億8千万円と、年々増加傾向にありました。

当社ではモノづくり現場でのニーズにお応えするため、今後も物流設備や情報システム(デジタル)への投資が必要であることから株主優待制度を見直し、さらなる成長のための投資につなげることといたしました。

■ROE推移

(単位:%)

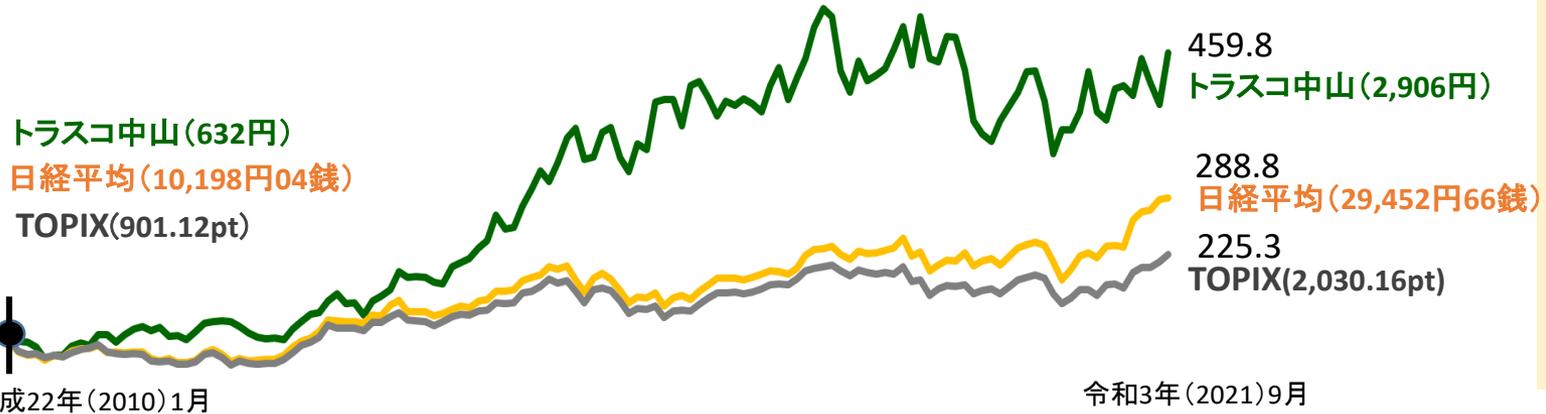
	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)
ROE	9.8	9.3	8.3	7.5	6.1

<ROEに対する考え方>

当社では、企業価値向上のための継続的な投資をすることで利益を拡大し、長期的かつ安定的に上昇させることが重要だと考えています。お客様の利便性向上を大切に、事業の結果としてROEが高まるというのが本来の姿であると考えています。

■株価指数の推移

平成22年(2010)1月を100とした場合の各指標の動きを数値化しています。



2021年10月27日(水)

当社株価 終値
2,730円

日経平均株価 終値
29,098円24銭

TOPIX
2,013.81pt

参考資料②－業界での指数比較

■同業界の商社、直販企業(上場企業)の業績

機械工具業界の商社には下記のような企業がありますが、卸売業・小売業で事業展開が異なり、それぞれ取扱う主力商品も異なっています。当社は工作機械などの大型機械の取扱いは無く、消耗品の取扱いが中心です。

(単位:百万円、%) 敬称略

卸売	令和2年(2020) -実績-			時価総額 (億円)
	決算月	売上高	前年比	
(株)山善	3月	434,744	△ 7.9	1,001
ユアサ商事(株)	3月	432,185	△ 12.0	701
(株)日伝	3月	102,751	△ 8.5	712
フルサト工業(株)	3月	89,478	△ 14.5	347
(株)NaITO	2月	39,145	△ 15.8	95
杉本商事(株)	3月	40,365	△ 8.0	280
トラスコ中山(株)	12月	213,404	△ 3.3	1,802

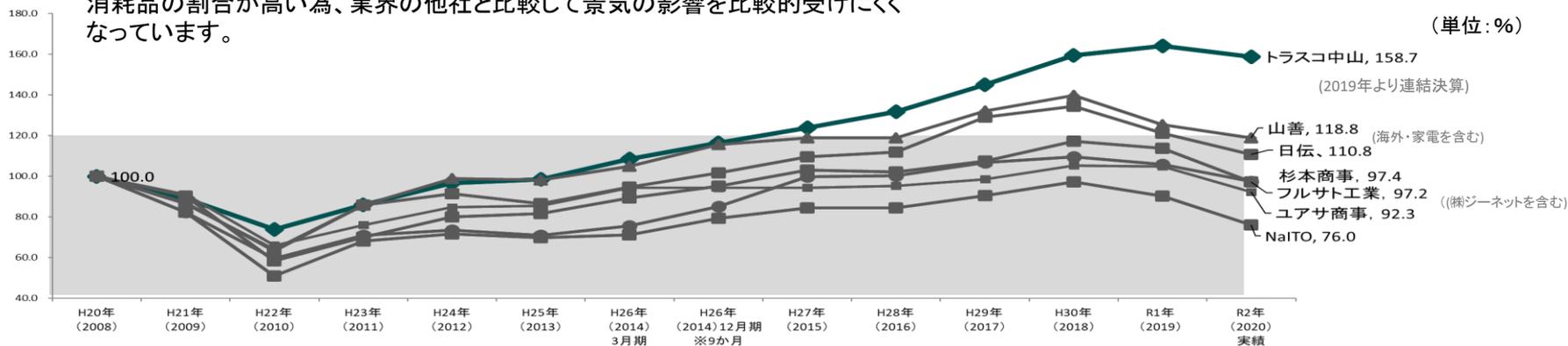
(単位:百万円、%) 敬称略

小売	令和2年(2020) -実績-			時価総額 (億円)
	決算月	売上高	前年比	
(株)ミスミグループ	3月	310,719	△ 0.8	13,700
(株)MonotaRO	12月	157,337	+ 19.7	13,300

※連結決算を発表している会社は連結決算の数値を記載しています。
 ※各数値は令和3年(2021)11月1日時点で公表されている実績及び予想を記載しています。
 ※時価総額は、2021年10月27日(水)の終値にて記載しています。

■同業界の商社との売上高指数比較

当社の商品構成は、設備投資に関わる商品の取扱いが少なく、日々使用される消耗品の割合が高い為、業界の他社と比較して景気の影響を比較的受けにくくなっています。



※指数基準:平成20年(2008)を100としています。平成20年3月期は当社売上高1,344億円とリーマンショック前の過去最高額を記録した年です。

※令和3年(2021)8月6日現在公開のデータをもとに経営企画・広報IR課にて算出した数値です。

※平成26年12月期のトラスコ中山指数は、決算期変更により9か月の変則決算であったため、12か月に換算した売上高1,563億円をもとに計算した参考値です。

参考資料③－【連結】令和3年(2021)12月期第3四半期 四半期毎の実績(四半期)

【令和3年(2021) 12月期 第3四半期【四半期ごと】

(単位:百万円、%)

		第1四半期 (+1日)			第2四半期 (±0日)			第3四半期 (±0日)			第4四半期 (±0日)		
		予算	構成比	前年同期比									
売上高	予算	58,121	100.0	+1.1	55,949	100.0	+9.9	54,981	100.0	+9.2	58,811	100.0	+7.6
	実績	58,246	100.0	+1.3	55,642	100.0	+9.3	54,819	100.0	+8.9			
売上総利益	予算	12,516	21.5	△0.3	12,474	22.3	+10.0	11,664	21.2	+10.1	12,555	21.3	+10.0
	実績	12,543	21.5	△0.1	12,099	21.7	+6.7	11,111	20.3	+4.9			
販売費及び一般管理費	予算	8,811	15.2	△4.4	8,899	15.9	+4.5	8,790	16.0	+2.0	8,845	15.0	+3.6
	実績	8,752	15.0	△5.1	8,664	15.6	+1.8	8,877	16.2	+3.0			
営業利益	予算	3,705	6.4	+11.0	3,575	6.4	+26.6	2,874	5.2	+45.4	3,710	6.3	+28.8
	実績	3,790	6.5	+13.6	3,434	6.2	+21.6	2,234	4.1	+13.0			
経常利益	予算	3,943	6.8	+16.5	3,807	6.8	+26.3	2,958	5.4	+43.7	3,805	6.5	+22.8
	実績	3,995	6.9	+18.0	3,695	6.6	+22.6	2,322	4.2	+12.8			
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	予算	2,725	4.7	+17.4	2,615	4.7	+29.9	2,034	3.7	+47.3	4,489	7.6	+95.8
	実績	2,712	4.7	+16.9	2,524	4.5	+25.4	2,242	4.1	+62.5			

※予算に関しましては第1四半期、第2四半期、第3四半期は令和3年3月15日発表の修正予算、第4四半期は11月1日発表の修正予算にて記載しております。

参考資料④－【連結】令和3年(2021)12月期第3四半期 四半期毎の実績(累計)

■令和3年(2021)12月期第3四半期【累計】

(単位:百万円、%)

		第1四半期(±1日)			第2四半期(±0日)			第3四半期(±0日)			第4四半期(±0日)		
		予算/実績	構成比	前年同期比	予算/実績	構成比	前年同期比	予算/実績	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年比
売上高	予算	58,121	100.0	+1.1	114,070	100.0	+5.2	169,051	100.0	+6.5	227,520	100.0	+6.6
	実績	58,246	100.0	+1.3	113,888	100.0	+5.1	168,708	100.0	+6.3			
売上総利益	予算	12,516	21.5	△0.3	24,990	21.9	+4.6	36,654	21.7	+6.3	48,310	21.2	+5.2
	実績	12,543	21.5	△0.1	24,643	21.6	+3.1	35,754	21.2	+3.7			
販売費及び一般管理費	予算	8,811	15.2	△4.4	17,710	15.5	△0.1	26,500	15.7	+0.6	35,140	15.4	+0.7
	実績	8,752	15.0	△5.1	17,417	15.3	△1.8	26,294	15.6	△0.2			
営業利益	予算	3,705	6.4	+11.0	7,280	6.4	+18.2	10,154	6.0	+24.8	13,170	5.8	+19.5
	実績	3,790	6.5	+13.6	7,225	6.3	+17.3	9,459	5.6	+16.2			
経常利益	予算	3,943	6.8	+16.5	7,750	6.8	+21.1	10,708	6.3	+26.6	13,820	6.1	+19.6
	実績	3,995	6.9	+18.0	7,691	6.8	+20.2	10,014	5.9	+18.4			
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	予算	2,725	4.7	+17.4	5,340	4.7	+23.2	7,374	4.4	+29.0	11,970	5.3	+49.5
	実績	2,712	4.7	+16.9	5,237	4.6	+20.8	7,480	4.4	+30.9			

※予算に関しましては第1四半期、第2四半期、第3四半期は令和3年3月15日発表の修正予算、第4四半期は11月1日発表の修正予算にて記載しております。

参考資料⑤－会社データ

■社員数【連結】 令和3年(2021)9月末現在

(単位:名)

	女	男	合計	前年同月比
役員	1	10	11	△1
執行役員	0	2	2	±0
キャリア	159	427	586	△39
エリア	281	302	583	+7
サポート	23	2	25	△3
スペシャリスト	15	13	28	△1
ロジス	79	265	344	△7
契約社員	1	32	33	△4
現地法人	18	24	42	±0
健康保険組合出向者	2	0	2	±0
中山財団出向者	0	0	0	±0
社員計	578	1,067	1,645	△47
パート	915	322	1,237	+128
従業員計	1,494	1,399	2,893	+80

女性社員比率35.1%/女性セールス60人/女性キャリア比率27.7%
 ※パートタイマーの人数は実際の雇用人数

■平均年齢・年収

	平均年齢(歳)			平均年収(万円)			
	女	男	全体	キャリア	エリア	ロジス	全体
令和2年(2020)	32.1	41.9	38.4	721	601	461	619
令和元年(2019)	31.3	42.0	38.2	758	642	492	655
平成30年(2018)	30.9	42.1	38.2	804	680	520	701
平成29年(2017)	30.7	42.7	38.6	805	696	541	715
平成28年(2016)	30.6	43.5	39.3	757	651	519	674

※全体平均年収は執行役員を含み、退職金「ファイナンシャルボンド」を除く金額
 ※平成26年度より業績連動型賞与を支給開始。令和元年(2019)より業績連動型賞与中止のため減額。
 ※令和元年(2019)12月期より連結決算開始のため、令和元年(2019)12月期より平均年齢は連結、平均年収は全て単体のデータ。

■入社者数および退職者数 ※パートタイマー除く

	平成28年(2016)【親単体】		平成29年(2017)【親単体】		平成30年(2018)【親単体】		令和元年(2019)【連結】		令和2年(2020)【連結】		令和3年(2021)9月末【連結】	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
社員数(名)	512	959	510	1004	557	1,051	585	1,071	589	1,085	578	1,067
	1,471		1,514		1,608		1,656		1,674		1,645	
入社者(名)	70	33	59	67	63	72	52	57	41	46	24	22
	103		126		135		109		87		46	
退職者(名)	20	18	18	18	20	26	42	44	37	33	35	36
	38		36		46		86		70		71	
離職率(%)	3.8	1.8	3.4	1.8	3.5	2.4	6.7	3.9	5.9	3.0	5.7	3.3
	2.5		2.3		2.8		4.9		4.0		4.1	

■拠点数【連結】 令和3年(2021)9月末現在

本社	2か所
支店	61か所
物流センター	17か所
海外拠点	3か所
ストックセンター	10か所
合計	93か所

■倒産による回収不能金額

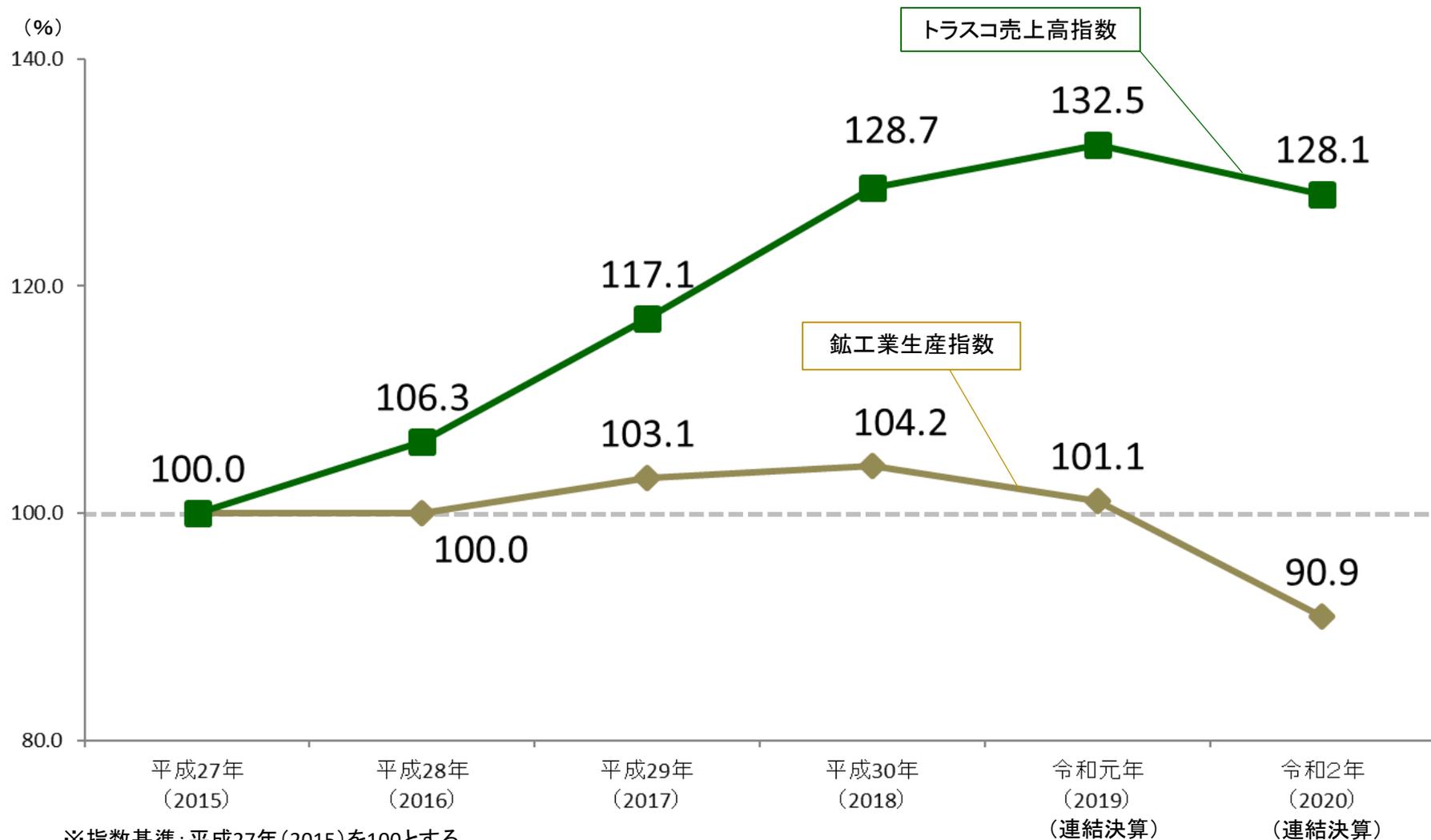
	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和2年(2020)	令和3年(2021)3Q
回収不能金額(万円)	0	4	0	0	275

■在庫廃棄金額及び在庫金額の推移

	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和2年(2020)
廃棄金額(百万円)	32	41	39	42	50
在庫金額(億円)	290	318	370	427	406
廃棄率(%)	0.11	0.13	0.11	0.10	0.12

参考資料⑥－当社売上高指数・鋳工業生産指数

■当社売上高指数及び鋳工業生産指数の推移



※指数基準: 平成27年(2015)を100とする

※鋳工業生産指数は令和3年(2021)1月29日に経済産業省より公表された数値